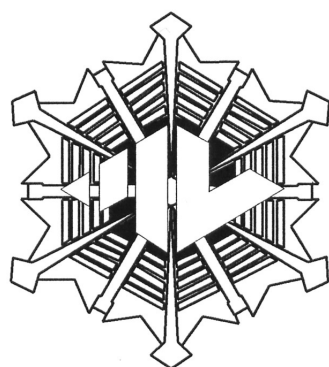


消防年報

令和 4 年版



都留市消防本部

令和 5 年刊行

ま え が き

この年報は、令和5年4月1日現在における都留市の消防現況及び令和4年中における消防の諸般の状況を収録し、今後の参考とするとともに、消防行政の実態をご理解いただくことを目的として編集しました。

※構成比は四捨五入しているため、合計しても必ずしも100%とはならない。

令和5年7月

都 留 市 消 防 本 部

目 次

庶 務 関 係 -----	1
沿 革 -----	2
山梨県都留市位置図 -----	10
消防現況の推移 -----	11
消防の組織 -----	12
消防本部・署事務分掌 -----	13
一般会計予算と消防予算の比較 -----	15
令和 5 年度当初予算 -----	15
消防職員配置状況 -----	16
消防職員年齢状況 -----	16
消防職員勤続年数 -----	17
消防職員所持資格・免許状況 -----	17
歴代消防長 -----	18
歴代消防署長 -----	20
歴代課長 -----	21
 警 防 関 係 -----	 22
通信系統図 -----	23
消防車両等一覧表 -----	24
無線局配置表 -----	25
消防水利一覧表 -----	26
累年火災状況 -----	27
累年月別火災状況 -----	27
火災総括表 -----	28
原因別火災状況 -----	29
曜日別火災発生件数 -----	30
時間別火災発生件数・損害額 -----	30
覚知別出場件数・損害額 -----	31
損害額の大きい火災の記録 -----	32
救急活動の前年比較 -----	35
累年・月別救急出場件数 -----	36
署・所別救急出場状況 -----	37
地区別・月別救急出場状況 -----	38
地区別・事故別救急出場状況 -----	38
事故種別・年齢別搬送人員 -----	39
性別・傷病程度別搬送人員 -----	39
時間別救急出場状況 -----	40

診療科目別搬送人員	40
曜日別救急出場状況	41
覚知別救急出場状況	41
1日の平均救急出場件数の年別比較	42
救急件数と主要事故別搬送人員	42
医療機関収容状況	43
119番受信状況	44
山梨県安心安全見守りセンター緊急通報端末機設置状況	45
山梨県安心安全見守りセンター受信状況	45
気象年表（気温・湿度）	46
気象年表（天気・降水量）	47
予 防 関 係（査察関係）	48
指定防火対象物状況	49
指定防火対象物（中・高層建築物）一覧表	51
建築物同意件数	52
建築同意用途別件数	53
消防用設備等設置状況	55
各種届出検査・願出調査等処理状況	57
防火対象物予防査察状況	58
保 安 関 係	60
危険物施設市町村別設置状況	61
危険物製造所等査察実施状況	62
指定数量別危険物貯蔵所・取扱所の区分	63
危険物月別事務処理状況	64
消 防 団 関 係	65
市勢地区別一覧表	66
都留市消防団・分団別管轄地域一覧表	66
都留市消防団火災出場計画（区分）表	67
消防団員数	68
消防団員年齢構成	68
消防団員勤続年数	69
ポンプ配置状況	69
消防団デジタル無線局配置表	70
消防ポンプ・小型動力ポンプ付積載車の配置・性能一覧表	71
歴代消防団長（都留市）	73



庶務関係



都留市消防署 訓練棟

沿 革

明治 12 年	山梨県消防組規則が発布され、谷村で私設消防組のほかに 30 名で公設消防組が設けられる。この時初めてのドイツ製腕用ポンプ 1 台を購入した。この頃のホースは牛皮製で、冬季間は使用後凍りつくため、その都度ヘッド油を塗り付ける不便から、明治 18 年ゴム製ホースに取り替えた。
明治 18 年	谷村に大火 100 余戸焼失。
明治 27 年	勅令により消防組規則が発令され、組頭 1 名、小頭 3 名、消防手 50 名を配置した。
明治 29 年	谷村町制を施行して谷村町となる。
大正 7 年	谷村町が公設消防手を 300 名に増員して、町長が組頭を兼務した。
昭和元年	谷村町消防組の副組長を 3 名制とし、9 部制に改組した。また町長の兼務組頭制度を廃止した。
昭和 14 年 4 月	勅令により警防団令が公布され谷村町消防組を谷村町警防団と改称した。
昭和 22 年 12 月 23 日	法律第 226 号をもって消防組織法が制定公布され、自治体消防制度が確立される。
	同 23 年 7 月施行となり警察より分離し新制度の消防は、市町村の機関となる。
昭和 22 年 12 月 25 日	谷村町消防団に常備消防部を創設し、都留市上谷 189 番地に於いて、消防車 1 台、消防手 6 名の編制をもって、二交代制で常備勤務を開始した。
昭和 23 年 3 月 7 日	消防組織法が施行され自治体消防が発足し、谷村町消防団は、5 分団 22 部制で定員 603 名で発足した。
昭和 23 年 7 月 24 日	法律第 186 号をもって消防法が公布され、8 月施行となる。
昭和 23 年 8 月 15 日	谷村町消防団常備消防部庁舎を下谷 2 番地に新築、移転した。
	木造平屋建、79.2㎡
昭和 23 年 8 月 25 日	米軍中型ジープ（ダッチブラザーズ）の払い下げを受けて改造消防車として配備した。
昭和 23 年 12 月 8 日	谷村町消防団常備消防部を廃止し、谷村町消防本部、同消防署を設置、実員 7 名、（消防士長 1 名、消防士 6 名）、消防車 2 台を配置、内 1 台は消防団に特別消火班を編成し、消防署の補助として整備した。
昭和 25 年 7 月 7 日	消防職員を 2 名増員し、実員 9 名とした。
昭和 29 年 4 月 29 日	町村合併促進法に基づき 1 町 4 ケ村が合併し、都留市として市制を施行し、同時に都留市消防本部、同消防署と改称した。（定員 13 名、実員 9 名）また都留市消防団が発足し 5 分団、49 部制に改め定員 1,455 名とした。
昭和 31 年 1 月 4 日	都留市消防団団旗樹立式挙行。
昭和 31 年 11 月 30 日	消防の機動力を強化するため、いすゞ普通型 A1 級消防車を購入した。
昭和 32 年 5 月 1 日	消防職員を 2 名増員し、実員 11 名とした。
昭和 33 年 4 月 1 日	都留市消防団谷村分団を谷村第 1 分団、谷村第 2 分団に分け、6 分団 49 部制を施行し、定員 1,127 名とした。
昭和 33 年 4 月 20 日	火災報知専用電話 119 番を消防署に設置した。

昭和 36 年 2 月 25 日	中型ジープの老朽化により、トヨタ普通型A 2 級消防車を購入配置した。
昭和 39 年 6 月 27 日	消防署庁舎を上谷 2 1 8 番地に新築し移転した。 木造モルタル造 2 階建延 1 9 8 . 7 4 2
昭和 40 年 4 月 1 日	政令 1 0 7 号の公布により消防本部、消防署義務設置市町村に指定された。
昭和 40 年 9 月 1 日	消防職員を 2 名増員し、実員 1 3 名とした。
昭和 41 年 4 月 1 日	消防職員を 3 名増員し、実員 1 6 名とした。
昭和 41 年 6 月 1 日	初代専任消防署長に天野諏訪松氏が就任した。
昭和 41 年 12 月 15 日	消防職員を 1 名補充し、実員 1 6 名とした。
昭和 42 年 9 月 20 日	消防職員を 1 名増員し、実員 1 7 名とした。
昭和 43 年 3 月 1 日	非常時の人命救助を目的とした救急業務を実施することになり、救急車（トヨタ 2 B 型）を配置し、救急業務を開始した。
昭和 43 年 3 月 1 日	消防職員を 2 名増員し、実員 1 9 名とした。
昭和 43 年 5 月 7 日	消防無線局基地局 1、移動局 1 を開局した。
昭和 43 年 5 月 27 日	消防業務の執行体制を強化するため、消防本部を市庁舎内から消防庁舎へ移転した。
昭和 43 年 9 月 27 日	火災現場等における指揮命令を迅速かつ適切に伝達するため消防車に無線を整備した。
昭和 44 年 2 月 21 日	田野倉局火災報知専用電話 1 1 9 番を設置した。
昭和 44 年 4 月 17 日	政令第 9 7 号の公布により救急業務実施市町村に指定された。
昭和 44 年 5 月 15 日	消防職員を 3 名補充し、1 名増員し、実員 2 0 名とした。
昭和 44 年 6 月 26 日	消防業務の推進を図るため、日本損害保険協会から普通型 A 1 級消防車が寄贈された。
昭和 45 年 3 月 30 日	科学の発達に伴い複雑多岐にわたる災害に対処するため、新鋭化学車いすゞ A 2 級 1 台を購入配置した。
昭和 45 年 4 月 1 日	消防職員を 3 名増員し、実員 2 3 名とした。
昭和 45 年 4 月 1 日	消防本部の組織改革を行い、消防職員から消防本部消防係長を任用した。
昭和 46 年 1 月 1 日	消防業務の執行体制を強化することを目的に、消防副士長制度を導入した。
昭和 46 年 4 月 1 日	消防職員を 1 名補充し、実員 2 3 名とした。
昭和 47 年 4 月 1 日	消防職員を 1 名補充、1 名増員し、実員 2 4 名とした。
昭和 47 年 4 月 1 日	消防団員の合理化のため 3 ケ年の減員計画により、消防団員の定員 1, 1 2 7 名を 9 3 2 名に改め、6 分団 4 8 部制に改編した。
昭和 48 年 4 月 1 日	消防職員を 2 名補充、2 名増員し、実員 2 6 名とした。
昭和 48 年 4 月 1 日	減員計画により消防団員の定員 9 3 2 名を 8 1 6 名に減員した。
昭和 49 年 1 月 21 日	消防無線局を更新設置した。
昭和 49 年 4 月 1 日	消防署の組織改革を行い、署次長制度を導入した。
昭和 49 年 4 月 1 日	消防職員を 2 名補充、1 名増員し、実員 2 7 名とした。
昭和 49 年 4 月 1 日	減員計画により消防団員の定員 8 1 6 名を 6 7 5 名に減員した。
昭和 49 年 5 月 11 日	盛里局火災報知専用電話 1 1 9 番を設置した。
昭和 49 年 6 月 7 日	日本消防協会から広報車（三菱ギャラン）が寄贈された。

昭和 49 年 12 月 2 日	都留市と道志村、秋山村消防業務に関する事務委託を公示した。
昭和 50 年 2 月 1 日	境地区（小沼局）火災報知専用電話（５－０１２１）を設置した。
昭和 50 年 4 月 1 日	山梨県東部広域市町村圏振興計画に基づき、広域常備消防体制が発足し、道志村、秋山村に出張所を設置し、各消防車１台、救急車１台を購入配置、消防職員１０名を増員し、各５名を出張所へ配置、実員３７名とした。
昭和 50 年 6 月 1 日	消防職員を１名補充し、実員３７名とした。
昭和 50 年 8 月 30 日	救急業務の推進を図るため、日本船舶振興会から救急車（日産キャラバン２Ｂ型）が寄贈された。
昭和 50 年 9 月 5 日	中型ジープの老朽化により、トヨタ普通型Ａ２級消防車を購入配置した。
昭和 50 年 12 月 1 日	道志出張所消防職員を１名増員し、実員３８名とした。
昭和 51 年 4 月 1 日	消防職員３名補充（本署２、道志出張所１）秋山出張所職員１名増員し、実員３９名とした。
昭和 51 年 6 月 8 日	道志・秋山出張所消防無線基地局を開局した。
昭和 52 年 6 月 25 日	都留市消防本部（署）庁舎新築工事を上谷二丁目１７８番１号 都留警察署跡地へ着手した。
昭和 52 年 10 月 26 日	出張所間連絡車両（スバルレオーネ）を消防本部へ購入配置した。
昭和 52 年 12 月 1 日	消防職員を１名補充し、実員３７名とした。
昭和 53 年 4 月 1 日	消防職員を２名補充、１名増員し、実員４０名とした。
昭和 53 年 4 月 1 日	女子用務員１名を配置した。
昭和 53 年 4 月 12 日	消防本部（署）庁舎完成、上谷二丁目２番９号へ移転した。鉄筋コンクリート造３階建、延べ面積９３６．８７㎡
昭和 53 年 11 月 30 日	高層建築物等人命救助体制確立のため２４ｍ級はしご付消防ポンプ自動車を購入配置した。
昭和 54 年 3 月 30 日	山梨県防災行政無線局が開局した。
昭和 54 年 4 月 1 日	秋山出張所消防職員を１名補充、実員４０名とした。
昭和 54 年 7 月 1 日	消防職員を２名増員し、実員４２名とした。
昭和 54 年 9 月 1 日	消防職員を２名補充（本署１、道志出張所１）実員４２名とした。
昭和 54 年 9 月 8 日	激増する救急業務に万全を期するため日本船舶振興会から救急車（トヨタハイエース２Ｂ型）の寄贈を受け本署へ救急車２台を配置した。
昭和 54 年 10 月 1 日	消防職員を１名増員し、実員４３名とした。
昭和 55 年 4 月 1 日	初代専任消防長石川文章氏が就任した。
昭和 55 年 4 月 1 日	消防職員を１名増員し、実員４４名とした。
昭和 55 年 5 月 1 日	消防職員を１名補充し、実員４４名とした。
昭和 56 年 1 月 1 日	秋山出張所消防職員を２名補充し、実員４４名とした。
昭和 56 年 2 月 1 日	川棚婦人消防隊結成式（クラブ員２３名）
昭和 56 年 4 月 1 日	広域常備消防の充実強化を図るため道志・秋山出張所消防職員を各２名増員し実員４９名とした。
昭和 56 年 6 月 30 日	都留市消防本部、道志村、秋山村が東部消防事務連絡協議会へ加入した。
昭和 56 年 9 月 14 日	消防業務に万全を期するため、トヨタクラウンステーションワゴンを購入配置

	し、指令車を2台とした。
昭和 56 年 9 月 22 日	広域消防業務の推進を図るため道志出張所へ本署で使用の指令車（三菱ギャラン）を連絡車として配置した。
昭和 57 年 8 月 9 日	都留市消防本部旗の樹立。（更新）記念式典を挙行了。
昭和 57 年 10 月 29 日	救急業務の推進を図るため、日本自動車工業会から救急車（日産キャラバン 2 B 型）が本署へ寄贈配置された。
昭和 58 年 4 月 1 日	消防職員を2名増員、1名補充し、実員50名とした。
昭和 58 年 6 月 1 日	広域消防業務の推進を図るため、秋山出張所へ連絡車（日産サニー）を購入配置した。
昭和 58 年 8 月 19 日	救急業務の推進を図るため、日本消防協会から救急車（トヨタハイエース 2 B 型）が道志出張所へ寄贈配置された。
昭和 59 年 4 月 1 日	消防職員を3名増員し、秋山出張所消防職員を1名補充し、実員53名とした。
昭和 59 年 4 月 1 日	非常災害時の対策として消防庁舎へ非常用電源を設置した。
昭和 59 年 6 月 6 日	境地区（小沼局）の火災報知専用電話 1 1 9 番が都留局に切り替わった。
昭和 59 年 6 月 20 日	道志出張所の連絡車（日産ブルーバード）を更新配置した。
昭和 59 年 10 月 25 日	住民への情報サービスを目的にテレホンサービス3台を設置した。
昭和 59 年 11 月 1 日	救急業務の推進を図るため、日本自動車工業会から救急車（日産キャラバン 2 B 型）が秋山出張所へ寄贈配置された。
昭和 59 年 11 月 11 日	宝子供消防クラブ発会式（宝小学校児童）
昭和 60 年 5 月 31 日	消防業務の推進を図るため、指令車（クラウンライトバン）の更新配置をした。
昭和 60 年 6 月 25 日	宝保育所幼年消防クラブ結成式
昭和 61 年 4 月 1 日	消防職員を1名補充し、実員50名とした。
昭和 61 年 6 月 2 日	山梨県消防特別救助隊設置調印式
昭和 62 年 4 月 1 日	消防職員を2名補充し、実員52名とした。
昭和 62 年 4 月 1 日	消防本部の組織改革を行い、予防班保安を新設し、係を廃止、班制度を導入した。
昭和 62 年 4 月 1 日	都留市消防団宝分団第5部・6部合併に伴い48部を47部制に改編した。
昭和 62 年 6 月 5 日	日本消防協会から都留市少年婦人防火委員会へ防火広報車が寄贈配置された。
昭和 62 年 10 月 28 日	消防車の老朽化に伴いトヨタ普通型 A 2 級、B D 1 型を購入配置した。
昭和 62 年 12 月 10 日	消防通信指令装置の更新に伴い、通信室の増築、整備を行い、災害時における防災拠点としての機能を備えた通信指令室とした。
昭和 62 年 12 月 22 日	最新電子技術を結集した消防通信指令装置を更新設置した。
昭和 62 年 12 月 24 日	道志出張所の消防車の老朽化に伴い日産普通型 A 2 級、B D 1 型を購入配置した。
昭和 63 年 6 月 23 日	消防本部、署庁内電話設備の更新をした。
昭和 63 年 6 月 25 日	消防署加入電話回線、2 回線の増設をした。
昭和 63 年 7 月 21 日	救急業務の推進を図るため、日本船舶振興会から救急車（日産キャラバン 2 B 型）が本署へ寄贈配置された。
昭和 63 年 10 月 26 日	第4回全国婦人消防操法大会へ川棚婦人消防隊が出場した。

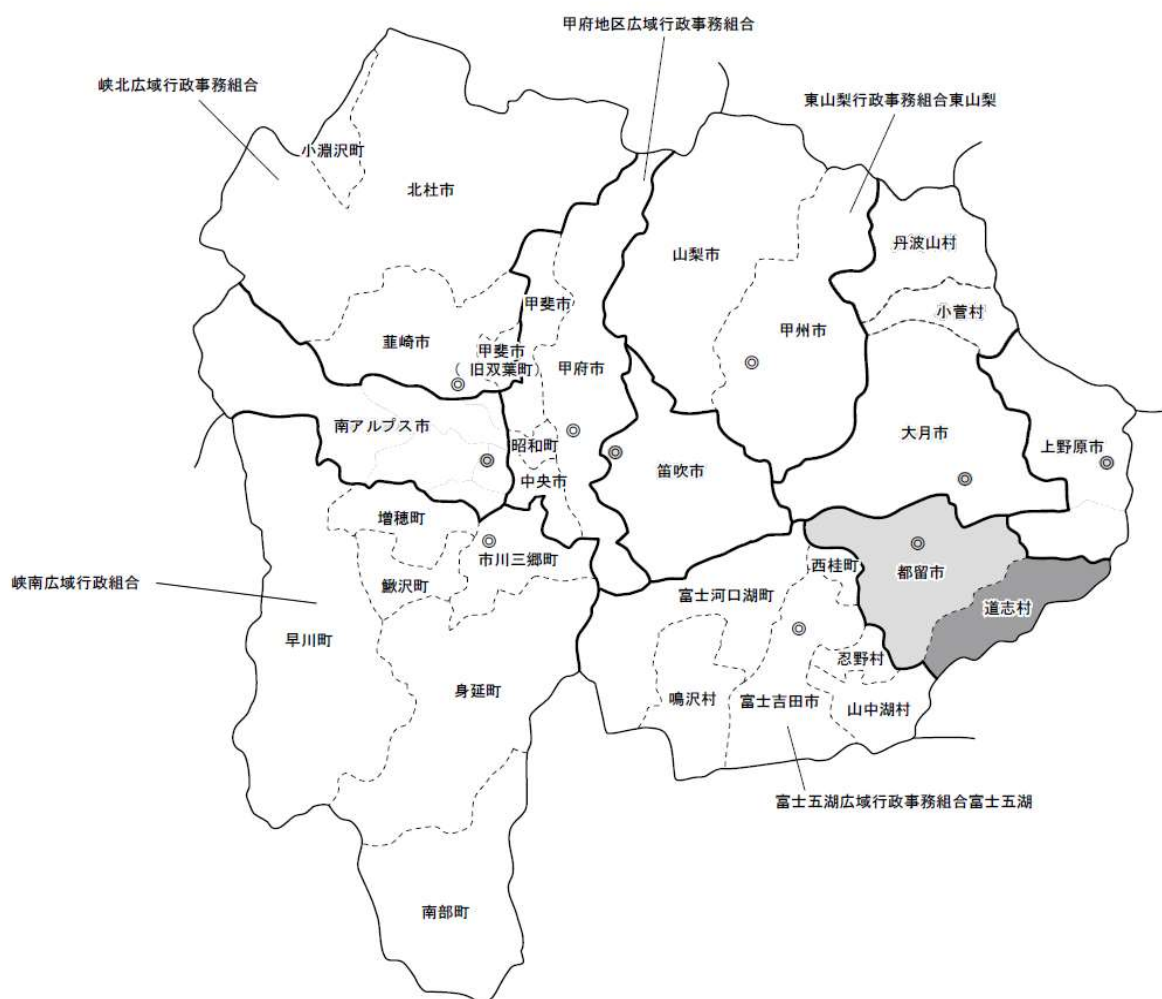
昭和 63 年 11 月 30 日	秋山出張所の消防車の老朽化に伴い日産普通型 A 2 級、B D 1 型を購入配置した。
平成 元年 4 月 1 日	複雑多様化する救急業務に迅速的確に対応するため、通信指令室に救急医療情報システム装置の運用を開始した。
平成 2 年 7 月 5 日	消防業務の推進を図るため、指令車（クラウンステーションワゴン）を更新配置した。
平成 2 年 12 月 4 日	F A X による緊急通報の受信を開始した。（加入番号）
平成 3 年 3 月 22 日	災害弱者（6 5 歳以上の虚弱老人世帯）の安全確保を図るため、緊急通報システム（ふれあいペンダント）を設置した。
平成 3 年 5 月 30 日	消防無線救急波を増波し、運用を開始した。
平成 3 年 11 月 27 日	気象観測装置の老朽化に伴い更新設置した。
平成 4 年 4 月 1 日	消防職員を 2 名補充（本署 1、秋山出張所 1）実員 5 2 名とした。
平成 4 年 7 月 1 日	消防職員条例定数を 6 0 名に改正した。
平成 4 年 8 月 31 日	消防庁舎の空調設備整備をした。
平成 5 年 3 月 15 日	宝水防倉庫の老朽化に伴い新築整備した。
平成 5 年 3 月 25 日	消防車の老朽化に伴い A 2 級 C D I 型（トヨタダイナ 4 W D）を購入配置した。
平成 5 年 3 月 25 日	化学車の老朽化に伴い A 2 級 I 型（いすゞフォワードダブルキャブ）を購入配置した。
平成 5 年 4 月 1 日	消防職員を 3 名増員し、実員 5 4 名とした。
平成 5 年 4 月 30 日	予防行政の推進を図るため、査察用軽自動車を購入配置した。
平成 5 年 6 月 24 日	消防業務の推進を図るため、指令車（トヨタステーションワゴン）の更新配置した。
平成 6 年 3 月 14 日	複雑多様化する救急業務の推進を図るため、高規格救急車（ベンツ 3 1 0 D）を購入配置した。
平成 6 年 4 月 1 日	消防職員を 3 名増員し、実員 5 7 名とした。
平成 6 年 4 月 1 日	消防本部・消防署の組織改革を行い、消防課を新設し、班を係に改め、署の次長を副長とし 1、2 部へ 2 名の係をおき、指揮命令系統の改善を図った。
平成 6 年 5 月 1 日	高規格救急車の運用を開始した。
平成 6 年 8 月 5 日	消防無線全国波を増波し、運用を開始した。
平成 7 年 5 月 29 日	初の救急救命士が誕生した。
平成 7 年 6 月 22 日	災害対策用として応急作業運搬車（トヨタダブルピック）を購入配置した。
平成 7 年 8 月 31 日	救急業務の推進を図るため、日本消防協会から救急車（日産キャラバン 2 B 型）が秋山出張所へ寄贈配置された。
平成 8 年 2 月 29 日	特殊災害対策用として各種救助資機材を装備した救助工作車 II 型（日野）購入配置した。
平成 8 年 4 月 1 日	消防職員を 2 名増員し、実員 5 9 名とした。
平成 8 年 6 月 1 日	1 1 9 番回線の複線化を実施、運用を開始した。
平成 9 年 4 月 1 日	消防署の組織改革を行い、1、2 部に 3 名の係をおき、指揮命令系統の改善を図った。

平成 9 年 9 月 16 日	消防態勢の充実を図るため、隣接する旧シルバー人材センター等用地（面積 336.30㎡）を購入した。
平成 10 年 4 月 1 日	消防職員を 1 名増員、1 名補充し、実員 60 名とした。
平成 10 年 7 月 1 日	都留市行政機構改革に伴い消防本部組織規則及び消防署組織規程の一部を改正し、係を担当に改め係長制度を廃止し、担当の責任者としてリーダーを選任した。
平成 10 年 9 月 12 日	都留市常備消防 50 周年記念式典を都留市文化ホールにおいて挙行、併せて楽山球場及び同球場駐車場を利用して防災イベントを開催した。
平成 10 年 10 月 1 日	移動体 119 番代表受信（富士五湖消防本部）転送運用を開始した。
平成 11 年 4 月 1 日	消防本部の組織体制の見直しを行い、消防署職員に本部事務を兼務する職員と消防署各担当の選任化を実施、併せて消防司令補の職にある職員をサブリーダーとして指名し、組織の充実強化を図った。
平成 11 年 9 月 30 日	道志出張所連絡車、株式会社加藤電器製作所より（日産エキスパート）寄贈を受け更新配置した。
平成 11 年 11 月 11 日	通信指令室の山梨県救急医療情報システム装置を更新設置した。
平成 11 年 11 月 25 日	県立富士女性センターにおいて、西宮市消防団鳴尾東分団部長岡田和泰氏を講師に迎え「地震防災講演会」を開催した。
平成 11 年 12 月 13 日	緊急通報システム装置（ふれあいペンダント）を更新設置した。
平成 12 年 4 月 1 日	消防職員を 2 名補充し、実員 59 名とした。
平成 12 年 7 月 18 日	FAX を増設し 45-1091 を緊急通報受信用 FAX 番号に変更した。
平成 12 年 8 月 1 日	本署での道志・秋山出張所 119 番の通信統制並びに加入電話に転送装置を付加し、組織の充実強化を図った。
平成 12 年 10 月 31 日	消防車の老朽化に伴い A2 級 CD1 型（いすゞ KK4WD）を消防署に購入配置した。
平成 13 年 7 月 30 日	年々増加する救急業務に対応するため、2 台目の高規格救急車（日産）を整備した。
平成 14 年 3 月 6 日	消防車の老朽化に伴い A2 級 CD1 型（いすゞ 4WD）の寄贈（損保）を受け秋山出張所に配置した。
平成 14 年 10 月 31 日	救急業務の高度化に対応するため、高規格救急車（トヨタ）を道志出張所に配置した。
平成 15 年 5 月 25 日	山梨県水防訓練が都留市法能・住吉橋下の菅野川河川敷において実施された。
平成 15 年 10 月 1 日	消防本部の代表電話を 43-2341 から 43-1119 に変更した。
平成 16 年 9 月 30 日	年次計画事業で進めてきた「防火水槽の取水口マンホール化事業」が全て終了した。
平成 16 年 10 月 29 日	消防通信指令装置の老朽化対策として、119 番補助受付装置（電話機 10 台及び録音装置 5 台）を新たに設置する。
平成 16 年 11 月 5 日	年々高度化する救急業務に対応するため、災害対策用救急車として高規格救急車（日産）を更新整備した。
平成 16 年 12 月 27 日	平成電電からの 119 番接続が行われ運用を開始した。

平成 17 年 1 月 19 日	日本テレコムからの 119 番接続が行われ運用を開始した。
平成 17 年 2 月 9 日	平成 17 年 2 月 13 日付けで秋山村と上野原町が合併し「上野原市」となることから、「都留市/秋山村・消防に関する事務の事務委託に関する規約」を同日付けで廃止し「都留市消防署 秋山出張所」が「上野原市消防本部」の所轄となるため「都留市消防署 秋山出張所 閉所式」を秋山村中央公民館で挙行了た。
平成 17 年 2 月 13 日	都留市消防署 秋山出張所の職員 8 名が上野原市消防本部へ割愛となったため、実員が 50 名となる。
平成 17 年 4 月 1 日	都留市/秋山村・消防に関する事務の事務委託に関する規約の廃止及び都留市消防署 秋山出張所の閉所に伴い、消防職員条例定数を 52 名に改正した。
平成 17 年 4 月 1 日	消防職員を 1 名補充し、実員 51 名とした。
平成 17 年 4 月 1 日	消防署 副長を 2 名とし各部に配置、併せて当務リーダーを各部 4 名とした。
平成 18 年 3 月 7 日	携帯電話からの 119 番通報直接受信の運用を開始した。
平成 18 年 3 月 28 日	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部と「職員交流に関する協定書」を締結し、同年 4 月 1 日から職員各 1 名の交流を開始した。
平成 18 年 4 月 1 日	消防職員条例定数を 53 名に改正した。
平成 18 年 4 月 1 日	消防署に当務指令を各部 2 名配置し、事務処理の効率化を図るため担当リーダーを各部 6 名体制とした。
平成 18 年 7 月 3 日	消防庁舎建設用地として、隣接する上谷二丁目 180 番 3 号・181 番 1 号・185 番 6 号（面積 745.95㎡）を購入した。
平成 18 年 12 月 20 日	消防車の老朽化に伴い A2 級 CD1 型（日野 4WD）を消防署に購入配置した。
平成 19 年 4 月 1 日	道志出張所消防職員 1 名増員し、消防署職員 3 名補充実員 53 名とした。
平成 19 年 4 月 1 日	事務事業の内容を的確に表現するために、消防本部を消防防災課に名称変更する。
平成 19 年 7 月 19 日	指令車の老朽化に伴いバン型車両（トヨタレジアスエース）を更新配備した。
平成 19 年 10 月 23 日	消防庁舎建設事業基本設計業務に着手した。
平成 20 年 4 月 1 日	消防庁舎建設事業実施設計業務に着手した。
平成 20 年 4 月 1 日	道志出張所が 3 交代勤務を開始した。
平成 20 年 11 月 12 日	消防庁舎建設工事に着手した。
平成 21 年 3 月 23 日	大月市消防本部及び上野原市消防本部と「職員交流に関する協定書」を締結し、同年 4 月 1 日から職員各 1 名の交流を開始した。
平成 21 年 4 月 1 日	消防本部の組織改革を行い、予防査察担当及び保安担当を統合し、予防担当とし名称変更を行う。
平成 21 年 12 月 25 日	消防本部（署）庁舎完成、鉄骨造 4 階建、延べ面積 1813.70㎡。
平成 23 年 2 月 28 日	消防本部（署）訓練 A・B 棟完成、鉄骨造 2 階建、延べ面積 A 棟 155.58㎡、B 棟 201.08㎡。
平成 23 年 12 月 1 日	道志出張所消防車の老朽化に伴い A2 級 CD1 型（日野 4WD）を購入配備した。
平成 24 年 2 月 2 日	複雑多様化する救急業務の推進を図るため、高規格救急車（トヨタ ハイエー

	ス)を購入配備した。
平成 25 年 4 月 1 日	都留市・大月市・上野原市消防指令事務協議会設立。
平成 25 年 9 月 30 日	応急作業運搬車の老朽化に伴い、災害対策用、資機材搬送車（トヨタ ダイナ）を購入配備した。
平成 26 年 4 月 1 日	消防署職員 3 名、道志出張所 2 名補充し、実員 56 名とした。
平成 26 年 10 月 3 日	連絡車としてトヨタノア（8 人乗り）の購入配備。
平成 26 年 11 月 13 日	山梨県東部消防指令センター開設に伴う改築工事。
平成 26 年 10 月 27 日	中津森防災ヘリ・ドクターヘリ場外離着陸場測量及び設計業務に着手した。
平成 26 年 12 月 22 日	消防職員定数を 53 名から 57 名に改正した。
平成 27 年 3 月 9 日	山梨県東部消防指令センター試験運用開始（都留市消防本部内） （都留市・大月市・上野原市消防本部より各 3 名の職員派遣 3 部制にて運用） 消防・救急デジタル無線及びAVMを各車両に取り付け。
平成 27 年 3 月 22 日	山梨県東部消防指令センター開所式。
平成 27 年 3 月 26 日	道志出張所救急車（高規格救急車）トヨタハイエースに更新。
平成 27 年 5 月 19 日	予防査察車としてスズキアルトの購入配備。
平成 27 年 5 月 20 日	女性職員採用に伴う仮眠室等の庁舎改修工事設計業務に着手した。
平成 27 年 9 月 7 日	女性職員採用に伴う仮眠室等の庁舎改修工事に着手した。
平成 27 年 11 月 11 日	中津森防災ヘリ・ドクターヘリ場外離着陸場整備工事及び監理業務に着手した。
平成 27 年 12 月 3 日	女性職員仮眠室等完成。
平成 28 年 5 月 23 日	中津森防災ヘリ・ドクターヘリ場外離着陸場完成。本市として初の災害時専用ヘリポートとして運用を開始した。
平成 29 年 4 月 1 日	消防署 副署長を 1 名、消防署 第 1 部に統括当務司令を 1 名配置した。
平成 29 年 11 月 26 日	救急 3 号車として高規格救急車（トヨタハイエース）を購入配備した。
平成 30 年 7 月 1 日	大月市・都留市消防本部管内中央道同時出場に関する確認書の締結。
平成 30 年 10 月 1 日	消防職員定数を 57 名から 62 名に改正した。
平成 30 年 12 月 3 日	化学車の老朽化に伴い A2 級 C D 1 型（日野デュトロ 4WD）を購入配備した。
令和 元 年 7 月 17 日	富士五湖広域行政事務組合富士五湖消防本部と都留市消防本部において、 消防相互応援協定書を締結。
令和 元 年 12 月 13 日	道志出張所に公益財団法人日本消防協会より、連絡車（三菱デリカ）が寄贈され配備した。
令和 2 年 3 月 27 日	梯子車の老朽化に伴い梯子車（高所作業車 日野デュトロ）を購入配備した。
令和 3 年 3 月 12 日	指令 1 号車の老朽化に伴い指令 1 号車（スズキエスクード）を購入配備した。
令和 3 年 4 月 1 日	消防職員定数を 62 名から 63 名に改正した。
令和 3 年 12 月 22 日	救助工作車の老朽化に伴い救助工作車Ⅱ型（日野、帝国繊維）を購入配備した。
令和 4 年 11 月 18 日	救急 1 号車として高規格救急車（トヨタハイエース）を購入配備した。

山梨県都留市位置図



面積・世帯数・人口(令和5年4月1日)

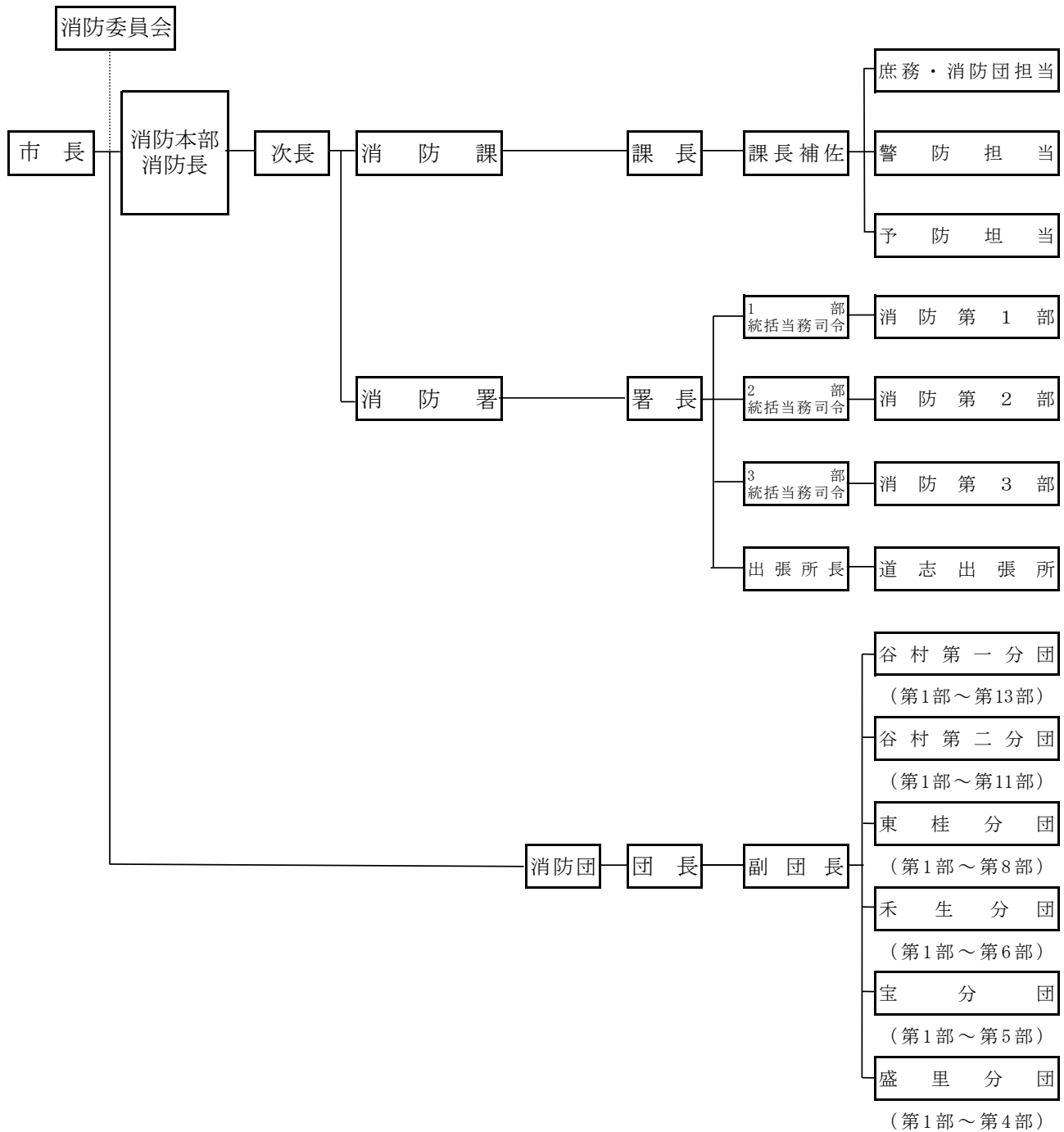
種 別 市町村別	面 積(km ²)	世帯数(世帯)	人 口(人)
合 計	241.31	13,784	30,340
都 留 市	161.63	13,158	28,795
道 志 村	79.68	626	1,545

消 防 現 況 の 推 移

年別 区分		26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
	面積(㎢)	241.15	241.31	241.31	241.31	241.31	241.31	241.31	241.31	241.31	241.31
	人口(人)	33,513	33,166	32,842	32,661	32,172	31,947	31,511	31,140	30,655	30,340
	世帯数	13,122	13,216	13,270	13,534	13,405	13,521	13,600	13,652	13,605	13,784
消防職員数	条例定数	53	57	57	57	57	62	62	63	63	63
	実員	56	57	58	57	56	56	55	57	56	56
消防職員一人当り	面積(㎢)	4.31	4.23	4.16	4.23	4.31	4.31	4.39	4.23	4.31	4.31
	人口	598.4	581.9	566.2	573.0	574.5	570.5	572.9	546.3	547.4	541.8
	世帯数	234.3	231.9	228.8	237.4	239.4	241.4	247.3	239.5	242.9	246.1
消防車両の数	消防ポンプ車	3	3	3	3	3	4	3	4	4	4
	救急車	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	(予備車)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(3)	(1)	(1)	(1)
	その他の車両	10	9	9	9	9	8	7	8	8	8
消防ポンプ車一台当り	面積(㎢)	80.4	80.4	80.4	80.4	80.4	60.3	80.4	60.3	60.3	60.3
	人口	11,171	11,055	10,947	10,887	10,724	7,987	10,504	7,785	7,664	7,585
	世帯数	4,374	4,405	4,423	4,511	4,468	3,380	4,533	3,413	3,401	3,446
火災件数		16	14	30	12	15	13	16	12	14	—
救急出場件数		1,677	1,561	1,623	1,623	1,640	1,579	1,457	1,469	1,602	—

備考 国土地理院面積公表 R5.1.1

消 防 の 組 織



消防本部・署事務分掌

区 分		担 当	分 掌 事 務
消 防 本 部	消	庶 務 消 防 団	1. 消防本部の組織及び基本施策の総合的企画に関すること 2. 儀式及び渉外に関すること 3. 予算、決算及び経理に関すること 4. 消防施設の建設、装備の購入及び営繕に関すること 5. 文書管理に関すること 6. 消防職員の研修に関すること 7. 消防職員委員会に関すること 8. 消防職員の教育訓練に関すること 9. 山梨県東部消防指令センターの運営に関すること 10. その他庶務に関すること
	防	警 防	1. 火災、その他の災害防御計画及び警戒に関すること 2. 火災の原因及び損害調査に関すること 3. 火災及び羅災証明に関すること 4. 救急救助業務に関すること 5. 消防車両及び機械器具の保守管理に関すること 6. 防火防災組織等に関すること 7. 警防査察に関すること 8. 消防地理水利の計画指導等に関すること 9. 気象観測及び通信に関すること 10. その他警防業務に関すること
	課	予 防	1. 火災予防査察及び指導啓蒙に関すること 2. 建築物の確認及び同意に関すること 3. 防火管理に関すること 4. 消防用設備等設置指導に関すること 5. 防火対象物の表示及び公表に関すること 6. 違反処理の取扱いに関すること 7. 自衛消防の育成に関すること 8. 危険物の規制事務に関すること

区 分		担 当	分 掌 事 務
消 防 本 部	消 防	予 防	9. 危険物製造所等の許認可に関する事 10. 液化石油ガスの保安に関する事 11. 電気設備及び電気用品の保安に関する事 12. 火薬類の譲受、譲渡及び消費の許可に関する事 13. その他予防業務に関する事
	防 課	庶 務 消 防 団	1. 消防団の庶務に関する事 2. 消防団儀式及び行事等の企画に関する事 3. 消防団員の教育訓練に関する事 4. 消防団員等の公務災害補償に関する事 5. 消防団関係施設及び機械器具の管理に関する事 6. 消防団員の表彰に関する事 7. 消防団員の退職報償金に関する事 8. その他消防団に関する事
消 防 署	消 防 第 1 ・ 2 ・ 3 部	庶 務 消 防 団 警 防 救 助 予 防 救 急	1. 災害の警戒、防御及び救助その他の消防現場活動に関する事 2. 地理水利の調査に関する事 3. 救急活動に関する事 4. 機械器具の保管維持に関する事 5. 通信業務に関する事 6. 予防業務に関する事 7. その他警防業務に関する事
	出 張 所	道 志	1. 災害の警戒、防御及び救助その他の消防現場活動に関する事 2. 地理水利の調査に関する事 3. 救急活動に関する事 4. 機械器具の保管維持に関する事 5. 通信業務に関する事 6. 予防業務に関する事 7. その他警防業務に関する事

一般会計予算と消防予算の比較

(単位千円)

区分 年度	一般会計当初予算	消防費当初予算	比 率 (%)
平成28年度	13,366,000	536,149	4.0%
平成29年度	13,416,000	622,819	4.6%
平成30年度	13,838,000	862,461	6.2%
令和元年度	13,905,000	783,956	5.6%
令和2年度	14,360,000	761,774	5.3%
令和3年度	14,358,000	842,819	5.9%
令和4年度	15,296,000	609,008	4.0%
令和5年度	16,116,000	650,636	4.0%

令和5年度当初予算

(単位千円)

内 訳	
科 目	金 額
合 計	650,636
常 備 消 防 費	371,837
広 域 常 備 消 防 費	74,974
非 常 備 消 防 費	57,281
消 防 施 設 費	92,915
消 防 指 令 セ ン タ ー 共 同 運 営 費	35,894
災 害 対 策 費	17,735

消防職員配置状況

職名		階級	消 防 吏 員					合計
		司令長	司令	司令補	士長	副士長	消防士	
消防本部	消 防 長	1						1
	消 防 次 長		1					1
	消 防 課 長		1					1
	課 長 補 佐		1					1
	庶務・消防団担当			1	1			2
	警 防 担 当			1				1
	予 防 担 当			1	1			2
	防 災 推 進 幹							
	他機関派遣・その他				(1)	(2)		
消防署	署 長		(1)					(1)
	消 防 第 1 部		2	1	4	4		11
	消 防 第 2 部		1	2	4	2	2	11
	消 防 第 3 部		1	1	6	2	2	12
	道 志 出 張 所			1	6	1	1	9
指令センター	指令センター長		1					1
	指令センター員			2	1			3
合 計		1	8	10	23	9	5	56

消防職員年齢状況

年齢	階級	司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
20歳以下							1	1
21～25歳						3	4	7
26～30歳					6	5		11
31～35歳					12			12
36～40歳				3	3			6
41～45歳				2				2
46～50歳			3	4				7
51～55歳			3	1				4
56歳以上		1	2		3			6
合 計		1	8	10	24	8	5	56

消防職員勤続年数

階級 年数		司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
1	年 未 満		1					1
1	年 以 上					3	5	8
5	年 以 上				10	5		15
10	年 以 上				6			6
15	年 以 上			3	5			8
20	年 以 上			1				1
25	年 以 上		2	4				6
30	年 以 上	1	5	2	3			11
合	計	1	8	10	24	8	5	56

消防職員所持資格・免許状況

階級 年数			司令長	司 令	司令補	士 長	副士長	消防士	合 計
運転免許証	大型	第 一 種	1	7	10	17	1		36
	中型	第 一 種		1		4	4		9
	普通	第 一 種				3	3	5	11
予防技術者	防 火 査 察			1	3	8			12
	消 防 設 備 等			1	1	5			7
	危 険 物			1	2	7			10
無線免許	第一級陸上特種無線技士				2				2
	第二級陸上特種無線技士		1	7	10	24	8	5	55
危険物免許状	甲 種				1				1
	乙 種 第 1 類			1	1	3			5
	乙 種 第 2 類				3	5			8
	乙 種 第 3 類			1	3	8			12
	乙 種 第 4 類			1	5	19	1	1	27
	乙 種 第 5 類			1	3	8			12
	乙 種 第 6 類				3	7			10
	丙 種				1	3			4
消 防設備士	甲 種 第 4 類								
	乙 種 第 6 類					1			1
救 急 救 命 士			1	6	5	15	2	2	31
J P T E C				3	7	22	8	5	45
I C L S			1	6	4	6			17
ク レ ー ン			1	7	10	11	1		30
玉 掛 け			1	7	10	11	1		30
水上安全法救助員Ⅰ					1	2			3
ガ ス ・ ア ー ク 溶 接				1	2	4			7
高所作業車運転技能講習				4	8	12	2		26
フルハーネス作業従事者						3			3
水難学会	指導員（プール）					3	3		6
ドローン	無人航空従事者試験3級					5	2		7

歴代消防長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
助役兼務	牛 田 弥 六	昭和 23. 12. 8 ～ 昭和 26. 3. 31	
〃	等々力 忠 男	昭和 26. 4. 1 ～ 昭和 29. 4. 28	
〃	清 水 潔	昭和 30. 8. 25 ～ 昭和 33. 5. 31	
〃	牛 田 正 巳	昭和 33. 6. 1 ～ 昭和 38. 8. 19	
〃	山 田 一 雄	昭和 38. 8. 20 ～ 昭和 45. 8. 31	
〃	舟久保 利 男	昭和 46. 7. 1 ～ 昭和 52. 12. 6	
市長事務 取り扱い	高 部 通 正	昭和 52. 12. 7 ～ 昭和 55. 3. 31	
初 代	石 川 文 章	昭和 55. 4. 1 ～ 昭和 57. 3. 31	
2 代	小 俣 茂	昭和 57. 4. 1 ～ 昭和 59. 3. 31	
3 代	米 山 和 三	昭和 59. 4. 1 ～ 昭和 60. 3. 31	
4 代	中 村 甲 男	昭和 60. 4. 1 ～ 昭和 61. 3. 31	
5 代	近 藤 千 尋	昭和 61. 4. 1 ～ 昭和 62. 3. 31	
6 代	本 多 正 樹	昭和 62. 4. 1 ～ 昭和 63. 3. 31	
7 代	杉 本 良 臣	昭和 63. 4. 1 ～ 平成 元. 3. 31	
8 代	安 田 精 致	平成 元. 4. 1 ～ 平成 3. 3. 31	
9 代	関 戸 三千秋	平成 3. 4. 1 ～ 平成 5. 3. 31	
10 代	小 俣 稔	平成 5. 4. 1 ～ 平成 6. 3. 31	
11 代	天 野 武	平成 6. 4. 1 ～ 平成 9. 3. 31	
12 代	園 田 一 雄	平成 9. 4. 1 ～ 平成 10. 3. 31	
13 代	加 藤 敬 次	平成 10. 4. 1 ～ 平成 11. 3. 31	
14 代	小 林 泰 司	平成 11. 4. 1 ～ 平成 12. 3. 31	
15 代	山 本 義 典	平成 12. 4. 1 ～ 平成 13. 3. 31	
16 代	瀧 本 利 廣	平成 13. 4. 1 ～ 平成 14. 3. 31	
17 代	武 井 邦 夫	平成 14. 4. 1 ～ 平成 15. 3. 31	
18 代	野 尻 猛 可	平成 15. 4. 1 ～ 平成 16. 3. 31	
19 代	岩 村 善 吉	平成 16. 4. 1 ～ 平成 17. 3. 31	
20 代	渡 辺 良 二	平成 17. 4. 1 ～ 平成 18. 3. 31	
21 代	牛 田 一 郎	平成 18. 4. 1 ～ 平成 19. 3. 31	
22 代	天 野 雄 次	平成 19. 4. 1 ～ 平成 21. 3. 31	
23 代	小 林 重 雄	平成 21. 4. 1 ～ 平成 22. 3. 31	
24 代	長 田 邦 行	平成 22. 4. 1 ～ 平成 23. 3. 31	
25 代	金 子 明	平成 23. 4. 1 ～ 平成 24. 3. 31	
26 代	黒 部 久 道	平成 24. 4. 1 ～ 平成 25. 3. 31	

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
27 代	平 井 勝 典	平成 25. 4. 1 ～ 平成 26. 3. 31	
28 代	尾 曲 郁 雄	平成 26. 4. 1 ～ 平成 28. 3. 31	
29 代	鈴 木 真 二	平成 28. 4. 1 ～ 平成 29. 3. 31	
30 代	重 原 達 也	平成 29. 4. 1 ～ 平成 30. 3. 31	
31 代	杉 本 良之介	平成 30. 4. 1 ～ 平成 31. 3. 31	
32 代	谷 内 治 彦	平成 31. 4. 1 ～ 令和 2. 3. 31	
33 代	志 村 元 康	令和 2. 4. 1 ～ 令和 3. 3. 31	
34 代	榎 田 仁	令和 3. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31	
35 代	小 林 昌 次	令和 5. 4. 1 ～	

歴代消防署長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
総務課長 兼 務	鈴 木 与 平	昭和23. 12. 8 ～ 昭和32. 3. 31	
〃	遠 藤 憲	昭和32. 4. 1 ～ 昭和40. 3. 31	
初 代	天 野 諏訪松	昭和41. 6. 1 ～ 昭和49. 3. 31	
2 代	石 川 景 一	昭和49. 4. 1 ～ 昭和55. 3. 31	
3 代	小 俣 茂	昭和55. 4. 1 ～ 昭和57. 3. 31	
4 代	中 村 甲 男	昭和57. 4. 1 ～ 昭和59. 3. 31	
5 代	近 藤 千 尋	昭和59. 4. 1 ～ 昭和61. 3. 31	
6 代	落 合 勇 夫	昭和61. 4. 1 ～ 昭和62. 3. 31	
7 代	関 戸 三千秋	昭和62. 4. 1 ～ 平成 3. 3. 31	
8 代	高 部 知	平成 3. 4. 1 ～ 平成 8. 3. 31	
9 代	大 津 征 夫	平成 8. 4. 1 ～ 平成12. 3. 31	
10 代	牛 田 一 郎	平成12. 4. 1 ～ 平成18. 3. 31	
11 代	長 田 邦 行	平成18. 4. 1 ～ 平成22. 3. 31	
12 代	平 井 勝 典	平成22. 4. 1 ～ 平成25. 3. 31	
13 代	渡 邊 英 雄	平成25. 4. 1 ～ 平成26. 3. 31	
14 代	佐 藤 和 利	平成26. 4. 1 ～ 平成27. 3. 31	
15 代	阪 本 一 郎	平成27. 4. 1 ～ 平成28. 3. 31	
16 代	杉 本 良之介	平成28. 4. 1 ～ 平成30. 3. 31	
17 代	小 林 昌 次	平成30. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31	
18 代	中 野 武 夫	令和 5. 4. 1 ～	

歴代課長

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初 代	大 津 征 夫	平成 6. 4. 1 ～ 平成 8. 3. 31	
2 代	牛 田 一 郎	平成 8. 4. 1 ～ 平成12. 3. 31	
3 代	園 田 一 二	平成12. 4. 1 ～ 平成14. 3. 31	
4 代	下 川 中	平成14. 4. 1 ～ 平成16. 3. 31	
5 代	長 田 邦 行	平成16. 4. 1 ～ 平成18. 3. 31	
6 代	天 野 雄 次	平成18. 4. 1 ～ 平成19. 3. 31	
7 代	天 野 松 夫	平成19. 4. 1 ～ 平成22. 3. 31	
8 代	黒 部 久 道	平成22. 4. 1 ～ 平成23. 3. 31	
9 代	鈴 木 達 郎	平成23. 4. 1 ～ 平成24. 3. 31	
10 代	渡 邊 英 雄	平成24. 4. 1 ～ 平成25. 3. 31	
11 代	新 田 雅 弘	平成25. 4. 1 ～ 平成26. 3. 31	
12 代	奥 脇 昌 幸	平成26. 4. 1 ～ 平成28. 3. 31	
13 代	根 本 久 男	平成28. 4. 1 ～ 平成30. 3. 31	
14 代	藤 江 隆	平成30. 4. 1 ～ 平成31. 3. 31	
15 代	小宮山 みゆき	平成31. 4. 1 ～ 令和 2. 3. 31	
16 代	中 野 武 夫	令和 3. 4. 1 ～ 令和 5. 3. 31	
17 代	庄 子 昇	令和 5. 4. 1 ～	



山梨県救助技術大会

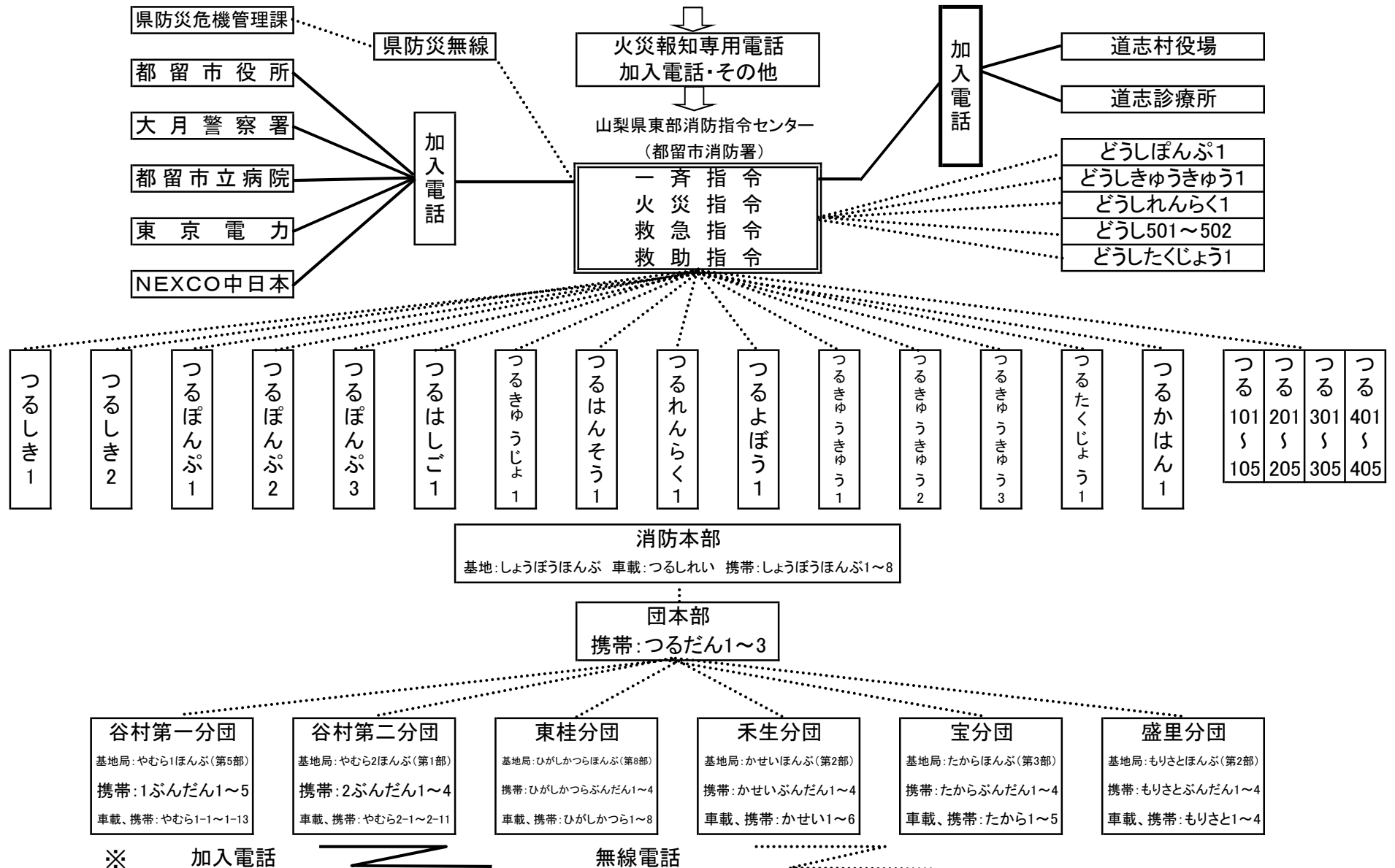
警 防 関 係



放水訓練

消 防 本 部 通 信 系 統 図

都留市内・道志村内



消防車両等一覧表 (1)

令和5年4月1日現在

区分 所属	種 別	車 体	年 式	排気量	ポンプ 級別	ポンプ メーカー	登録年月日
消防本部	指 令 車	スズキ	2021	1,370			R3. 2. 24
消防本部	指 令 車	トヨタ	2007	2,690			H19. 7. 19
消防本部	連 絡 車	トヨタ	2014	1,980			H26. 9. 26
消防本部	査 察 車	スズキ	2015	650			H27. 5. 15
消 防 署	普通ポンプ車	日 野	2006	4,000	A - 2	長野ポンプ	H18. 12. 20
消 防 署	普通ポンプ車	いすゞ	2000	4,570	A - 2	GMいちはら	H12. 10. 30
消 防 署	普通ポンプ車	日 野	2018	4,000	A - 2	長野ポンプ	H30. 11. 21
消 防 署	はしご車	日 野	2020	4,000			R2. 3. 23
消 防 署	救助工作車	日 野	2021	5,120			R3. 12. 16
消 防 署	資機材搬送車	トヨタ	2013	2,980			H25. 9. 30
消 防 署	救 急 車	トヨタ	2017	2,690			H29. 11. 7
消 防 署	救 急 車	トヨタ	2012	2,690			H24. 1. 27
消 防 署	救 急 車	トヨタ	2022	2,690			R4. 10. 25
道志出張所	普通ポンプ車	日 野	2011	4,000	A - 2	長野ポンプ	H23. 11. 21
道志出張所	救 急 車	トヨタ	2015	2,690			H27. 3. 19
道志出張所	連 絡 車	三菱	2019	2,350			R1. 12. 5

消防車両等一覧表 (2)

区分 所属	普通 ポンプ 車	は し ご 車	救 助 工 作 車	資 機 材 搬 送 車	査 察 車	救 急 車	指 令 車	連 絡 車	ポ小 ン型 動 プ力	合 計	
消防本部					1		2	1		4	
消 防 署	3	1	1	1		3			(8)	9	(8)
道志出張所	1					1		1	(1)	3	(1)
計	4	1	1	1	1	4	2	2	(9)	16	(9)

無線局配置表

(消防本部・消防署)

局 別 車 別	呼 出 名 称	空中線 電 力	開局 年月日
基 地 局	しょうぼうつる	10w	H27. 3. 9
指 令 車	つるしき1	10w	H27. 3. 9
指 令 車	つるしき2	10w	H27. 3. 9
連 絡 車	つるれんらく1	5w	H27. 3. 9
普通ポンプ車	つるぼんぷ1	10w	H27. 3. 9
普通ポンプ車	つるぼんぷ2	10w	H27. 3. 9
普通ポンプ車	つるぼんぷ3	10w	H27. 3. 9
はしご車	つるはしご1	10w	H27. 3. 9
救助工作車	つるきゅうじょ1	10w	H27. 3. 9
資機材搬送車	つるはんそう1	10w	H27. 3. 9
査 察 車	つるよぼう1	5w	H27. 3. 9
救 急 車	つるきゅうきゅう1	10w	H27. 3. 9
救 急 車	つるきゅうきゅう2	10w	H27. 3. 9
救 急 車	つるきゅうきゅう3	10w	H27. 3. 9
携 帯	つる 101	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 102	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 103	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 104	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 105	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 201	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 202	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 203	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 204	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 205	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 301	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 302	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 303	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 304	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 305	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 401	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 402	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 403	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 404	5W	H27. 3. 9
携 帯	つる 405	5W	H27. 3. 9
可 搬	つるかはん1	10w	H27. 3. 9
卓 上	つるたくじょう1	10w	H27. 3. 9

(道志出張所)

局 別 車 別	名 称	空中線 電 力	開局 年月日
基 地 局	しょうぼうどうし	10W	H27.3.9
普通ポンプ車	どうしぼんぷ1	10W	H27.3.9
指 令 車	どうしれんらく1	10W	H27.3.9
救 急 車	どうしきゅうきゅう1	10W	H27.3.9
携 帯	どうし 501	5W	H27.3.9
携 帯	どうし 502	5W	H27.3.9
卓 上	どうしたくじょう1	10W	H27.3.9

消防水利一覧表

令和5年4月1日現在

種 別		合 計	公 設 消 火 栓	私 設 消 火 栓	公 設 貯 水 槽	私 設 貯 水 槽	プ ー ル
地 区 別							
合 計		1,244	923	66	230	13	12
都留市消防署管内	小 計	1,018	764	66	163	13	12
	谷 村	210	172	4	33	0	1
	三 吉 開 地	167	124	11	28	1	3
	東 桂	176	129	15	29	1	2
	禾 生	211	174	6	26	1	4
	宝	139	109	4	24	1	1
	盛 里	115	56	26	23	9	1
参 考	小 計	226	159	0	67	0	0
	道志出張所管内	226	159	0	67	0	0

累年火災状況

区分 年別	火災件数					焼損棟数					爆発	死者	負傷者	焼損面積 建物面積 (㎡) 林野 (a) 建物面積 (㎡) 林野 (a) 車両	損害額 (千円)
	計	建物	林野	車両	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや					
R4年	14	7	0	3	4	11	6	1	1	3	0	1	1	298 29 0 4台	18,564

累年月別火災状況

年別 月別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
30年	15	0	0	4	5	1	0	2	1	0	0	0	2
R1年	13	1	1	0	2	1	0	0	3	0	4	1	0
R2年	16	3	2	3	1	1	0	1	1	0	1	2	1
R3年	12	2	1	2	1	0	1	1	0	2	0	1	1
R4年	14	0	1	3	1	1	0	1	1	1	2	1	2

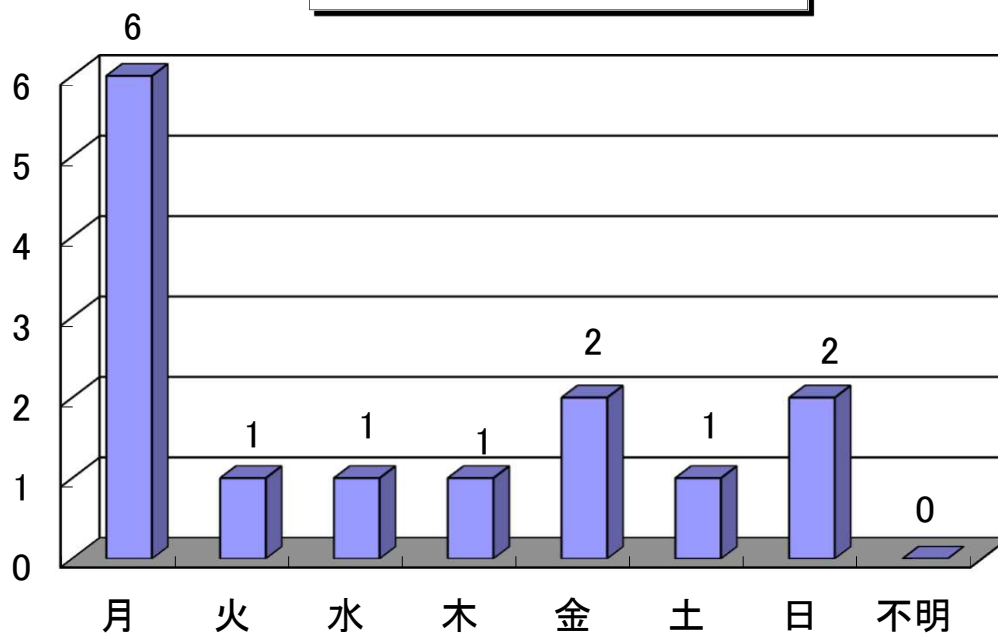
火 災 総 括 表

区分 月別	火 災 件 数					焼 損 棟 数					り災世帯			り 災 人 員	死者		負傷者		焼 損 面 積				損 害 額 (千 円)						
	計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	全 損	半 損	小 損		職 団 員	そ の 他	職 団 員	そ の 他	建物㎡		林 野 a	そ の 他 ㎡	建 物	収 容 物	林 野	車 両	そ の 他	爆 発	合 計
																			床 面 積	表 面 積									
1	-					-																							-
2	1	1				2	2												81				1,224	56					1,280
3	3	2			1	2	2												25				32	154					186
4	1			1		-																	15			285			300
5	1			1		-																				30			30
6	-					-																							-
7	1				1	-																							-
8	1	1				4	1	1	1	1	1	1	1	6					168	28			9,131	5,750					14,881
9	1	1				1				1			1	1										10					10
10	2			1	1	-										1										30	5		35
11	1	1				1				1									1				1						1
12	2	1			1	1	1										1		24				1,834	7					1,841
合計	14	7		3	4	11	6	1	1	3	1	1	2	7		1		1	298	29		-	12,222	5,992		345	5		18,564

原 因 別 火 災 状 況

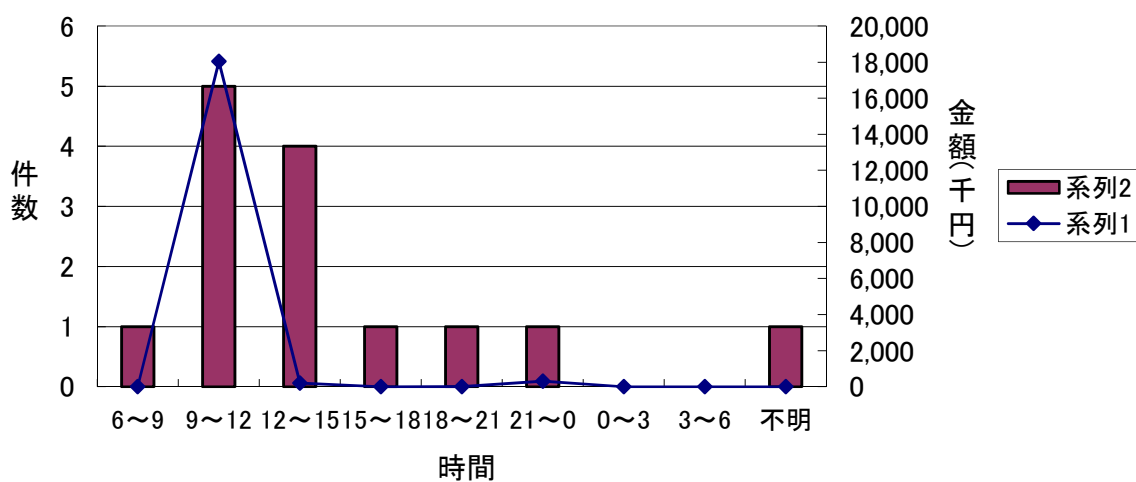
月別	区分	火災件数						り災世帯	り災人員	死傷者数		焼損面積				損害額（千円）						
		合計	建物	林野	車両	その他	爆発			死者	負傷者	建物㎡		林野 ^a	その他㎡	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発	合計
												床面積	表面積									
たばこ	ころも																					0
こんど	かまど																					0
風呂	かまど																					0
	炉																					0
焼却	炉																					0
ストーブ																						0
こたつ																						0
ボイラー																						0
煙突・煙道																						0
排気管																						0
電気機器																						0
電気装置																						0
電灯・電話等の配線		1				1																0
内燃機関																						0
配線器具																						0
火遊び																						0
マッチ・ライター																						0
たき火																						0
溶接機・切断機																						0
灯火	火	1	1				3	6			168	28			9,131	5,750						14,881
衝突の火花		1			1													30				30
取灰																						0
火入れ		1				1																0
放火	火	2			1	1			1									30	5			35
放火の疑い																						0
その他		7	5		1	1	1	1		1	49	1			1,867	186		285				2,338
不明・調査中		1	1								81				1,224	56						1,280
合計		14	7	0	3	4	0	4	7	1	1	298	29	0	0	12,222	5,992	0	345	5	0	18,564

曜日別火災発生件数



曜日	月	火	水	木	金	土	日	不明	合計
件数	6	1	1	1	2	1	2	0	14

時間別火災発生件数



単位: 千円

時間	6~9	9~12	12~15	15~18	18~21	21~0	0~3	3~6	不明	合計
件数	1	5	4	1	1	1	0	0	1	14
損害額	5	18,042	207	0	10	300	0	0	0	18,564

覚 知 別 出 場 件 数 ・ 損 害 額

覚知別 区分		合 計	火災報知 専用電話	加入電話	警 察 電 話	駆け付け 通 報	事 後 開 知	その他
火災 件数	合 計	14	13	0	0	0	1	0
	建 物	7	6				1	
	林 野	0	0					
	車 両	3	3					
	その他	4	4					
損害額 (千円)	合 計	18,564	18,554	0	0	0	10	0
	建 物	18,199	18,189				10	
	林 野	0	0					
	車 両	360	360					
	その他	5	5					
焼損面積等								
(建 物 m ²)		298	298					
(表面積 m ²)		29	29					
(林 野 a)		0						

損害額の大きい火災の記録

(損害額 単位：千円)

発生年月日	場 所	焼損面積 (㎡)	損 害 額	原 因
明治 25. 12. 22	南都留郡禾生村 四日市場組	8棟全焼	不明	不明
31. 6. 29	南都留郡谷村町 田町	23棟全焼 4棟半焼	不明	かまどの残火
33. 2. 16	南都留郡宝村 大幡組	18棟全焼 8棟全焼	不明	かまどの残火
35. 3. 7	南都留郡谷村町	6棟全焼	不明	不明
41. 12. 5	南都留郡開地村 菅野組	山林 30町歩	不明	不明
大正 2. 2. 6	南都留郡禾生村 小形山	6棟全焼 2棟半焼	1	放火
2. 12. 28	南都留郡東桂村 字夏狩	42戸83棟全焼 1戸1棟半焼	13	こたつの不始末
7. 1. 14	南都留郡谷村町 字姥澤	7戸19棟全焼	不明	不明
7. 3. 22	南都留郡禾生村 字堀之内	21戸46棟全焼	30	不明
8. 9. 6	南都留郡谷村町 田町	21戸70棟全焼	100	乾燥機
14. 4. 14	南都留郡谷村町 早馬町	21戸50棟全焼 5戸5棟半焼	130	不明
昭和 2. 6. 2	南都留郡谷村町 下天神町	7世帯17棟全焼 2世帯3棟半焼	14	たき火の不始末
5. 10. 24	南都留郡谷村町 上町	13戸37棟全焼 1戸2棟半焼	81	かまどの残火
8. 7. 1	南都留郡谷村町 立町	8戸16棟全焼	30	乾燥場の火の不始末
14. 2. 16	南都留郡谷村町 早馬町	5戸7棟全焼 6戸11棟半焼	100	いろりの不始末
15. 1. 30	南都留郡東桂村 御正体山恩賜林	山林 40町歩	不明	たき火の不始末
21. 3. 16	南都留郡禾生村 (村立国民学校)	校舎6棟全焼	不明	火鉢の不始末
24. 5. 13	南都留郡谷村町下町 (谷村大火)	全焼297棟 半焼16棟	558, 420	モータの過熱
33. 6. 6	都留市川茂	445	2, 200	石油コンロ

(明治、大正については焼損程度5棟以上、昭和、平成については焼損面積400㎡以上)

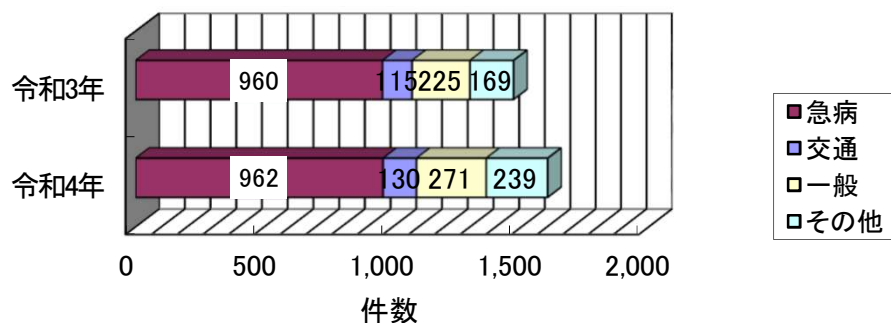
発生年月日	場 所	焼損面積 (㎡)	損 害 額	原 因
昭和 35. 1. 1	都留市金井	484	5,000	煙突の過熱
36. 5. 7	都留市羽根子	466	3,550	放火
38. 12. 10	都留市田野倉	942	13,028	ガソリンに引火
39. 3. 26	都留市上谷 (谷村高校)	校舎6棟全焼 3,860	50,000	不明
40. 8. 14	都留市下谷	883	1,500	不明
41. 1. 23	都留市小形山	506	50,000	煙突の過熱
43. 1. 29	都留市上谷	457	19,000	石油ストーブ
44. 4. 14	都留市古川渡	487	11,870	ガスコンロ
45. 2. 16	都留市鹿留	448	11,700	煙突の過熱
47. 2. 23	都留市下谷	1,163	64,200	ストーブの火の粉
50. 7. 16	都留市井倉	462	50,000	不明
54. 3. 12	都留市大野	526	15,080	不明
56. 2. 10	都留市大幡字入山	24h	19,520	不明
57. 9. 5	都留市田野倉 (パチンコ店)	2棟全焼 541	141,030	たばこの不始末
59. 3. 28	都留市つる	424	27,787	不明
60. 4. 10	都留市戸沢	452	14,950	こたつの不始末
60. 12. 13	都留市大野	483	15,993	こたつの不始末
62. 7. 28	都留市つる	654	73,717	ごみ焼却炉の 過熱
平成 7. 1. 4	都留市大幡	994	36,125	不明
18. 2. 21	都留市鹿留	350	130,388	薪ストーブの 輻射熱
21. 11. 29	都留市大幡	486	9,945	不明
平成 24. 12. 10	都留市大幡 (株式会社)	2棟全焼 861	69,019	不明

発生年月日	場 所	焼損面積 (㎡)	損 害 額	原 因
平成 30. 4. 3	都留市朝日曽雌	6棟全焼 1棟部分焼 3棟ぼや 520	8,119	ごみ焼却炉の 火の粉

救急活動の前年比較

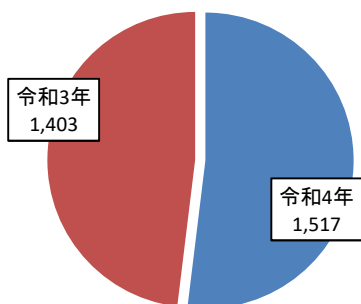
区 分	令和4年	令和3年	前年との比較（増△減）		令和4年	令和3年
	A	B	A-B=C	C/B×100	1日平均	1日平均
救急出場件数	1,602	1,469	133	9.1	4.39	4.02
急病	962	960	2	0.2	2.64	2.63
交通事故	130	115	15	13.0	0.36	0.32
一般負傷	271	225	46	20.4	0.74	0.62
その他 （上記以外）	239	169	70	41.4	0.65	0.46
搬送人員	1,517	1,403	114	8.1	4.16	3.84
不搬送件数	106	78	28	35.9	0.29	0.21

救急出場件数前年比

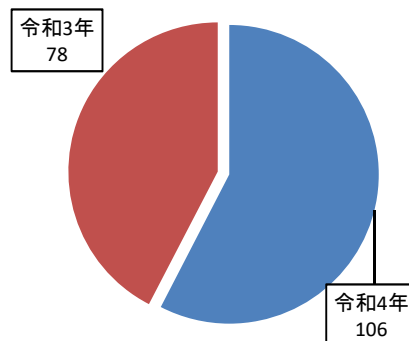


	急病	交通	一般	その他
令和4年	962	130	271	239
令和3年	960	115	225	169

救急搬送人員前年比



不搬送件数前年比



	搬送人員	%
令和4年	1,517	52.0%
令和3年	1,403	48.0%
合 計	2,920	

	不搬送件数	%
令和4年	106	57.6%
令和3年	78	42.4%
合 計	184	

累年・月別救急出場状況件数

月別 年別	合 計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
平成3年	1,039	75	60	82	86	103	83	73	101	94	82	105	95
4年	981	86	58	77	88	72	83	73	88	95	105	87	69
5年	1,022	109	62	86	54	75	77	97	99	90	109	88	76
6年	1,074	82	65	98	83	89	86	112	114	73	91	100	81
7年	1,032	80	86	84	80	79	94	86	99	78	79	106	81
8年	1,077	76	75	93	102	87	74	92	88	91	94	100	105
9年	1,197	117	92	92	87	97	110	108	122	85	112	83	92
10年	1,123	99	101	84	76	103	93	91	111	90	84	99	92
11年	1,139	150	76	93	59	90	94	109	111	79	90	98	90
12年	1,194	104	92	102	88	89	91	112	124	93	111	85	103
13年	1,266	110	91	109	94	97	97	106	114	104	122	105	117
14年	1,252	104	87	102	121	106	86	108	96	91	100	122	129
15年	1,331	122	105	92	128	122	104	107	133	92	95	91	140
16年	1,360	131	119	94	110	122	107	128	127	116	89	94	123
17年	1,339	116	103	119	114	85	99	133	132	103	108	109	118
18年	1,404	135	94	109	106	100	103	126	141	106	147	108	129
19年	1,468	117	109	128	113	141	110	112	138	114	120	121	145
20年	1,352	142	97	114	97	102	110	126	108	121	123	105	107
21年	1,437	133	99	114	105	139	107	103	133	119	120	122	143
22年	1,473	122	102	118	126	129	133	112	156	126	109	124	116
23年	1,409	114	106	126	95	128	114	122	149	112	116	102	125
24年	1,625	160	142	123	122	99	122	153	138	132	145	147	142
25年	1,556	146	111	115	123	132	125	150	151	132	107	111	153
26年	1,677	143	153	125	141	141	136	129	160	139	132	151	127
27年	1,561	144	136	106	113	126	127	156	134	129	135	122	133
28年	1,623	141	135	135	115	125	122	153	160	122	124	137	154
29年	1,623	145	132	115	112	133	119	155	158	131	143	130	150
30年	1,640	178	128	120	131	131	137	148	155	131	126	121	134
令和元年	1,579	157	106	109	136	137	112	141	163	111	133	121	153
2年	1,457	127	114	112	97	102	124	122	144	123	117	147	128
3年	1,469	126	96	116	102	135	99	157	140	115	140	117	126
4年	1,602	147	117	125	123	117	113	171	130	125	133	132	169

署・所別救急出場状況

事故種別 署 別		救急出場 件 数	火災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害 事故	自損 行為	急病	その他
合 計		1,602	1	0	1	130	67	11	271	4	15	962	140
小計	都 留	1,424	1	0	0	76	65	11	230	3	12	889	137
	道 志	178	0	0	1	54	2	0	41	1	3	73	3
1月	都 留	133	0	0	0	6	3	0	24	1	2	86	11
	道 志	14	0	0	0	1	0	0	2	0	0	11	0
2月	都 留	104	0	0	0	1	3	0	16	1	2	72	9
	道 志	13	0	0	0	2	1	0	3	0	0	7	0
3月	都 留	113	0	0	0	7	11	1	16	0	0	58	20
	道 志	12	0	0	0	4	1	0	4	0	0	2	1
4月	都 留	107	0	0	0	8	8	0	16	0	0	58	17
	道 志	16	0	0	1	4	0	0	7	0	0	4	0
5月	都 留	98	0	0	0	6	6	1	15	0	0	63	7
	道 志	19	0	0	0	9	0	0	7	0	0	3	0
6月	都 留	104	0	0	0	5	5	1	14	0	2	71	6
	道 志	9	0	0	0	5	0	0	0	0	1	3	0
7月	都 留	154	0	0	0	12	5	3	13	1	1	109	10
	道 志	17	0	0	0	4	0	0	3	0	0	10	0
8月	都 留	115	0	0	0	1	3	1	10	0	2	89	9
	道 志	15	0	0	0	4	0	0	4	0	0	6	1
9月	都 留	106	0	0	0	8	7	2	20	0	0	60	9
	道 志	19	0	0	0	7	0	0	5	0	1	6	0
10月	都 留	114	0	0	0	9	7	2	30	0	1	56	9
	道 志	19	0	0	0	7	0	0	3	1	1	7	0
11月	都 留	119	0	0	0	8	3	0	26	0	0	63	19
	道 志	13	0	0	0	4	0	0	3	0	0	5	1
12月	都 留	157	1	0	0	5	4	0	30	0	2	104	11
	道 志	12	0	0	0	3	0	0	0	0	0	9	0

地区別・月別救急出場状況

月 別 地区別		合 計	比較 (%)	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
合 計		1,602	100%	147	117	125	123	117	113	171	130	125	133	132	169
都 留 市	東 桂	238	14.9%	17	23	17	19	14	18	25	22	21	15	22	25
	谷 村	477	29.8%	45	33	43	35	34	39	58	28	37	38	42	45
	三吉開地	203	12.7%	19	9	15	12	11	15	19	17	21	18	15	32
	禾 生	317	19.8%	30	21	25	30	30	21	29	28	17	22	22	42
	宝	105	6.6%	13	11	4	8	5	6	14	11	4	9	12	8
	盛 里	46	2.9%	3	3	6	2	3	4	4	6	4	3	3	5
道 志 村		196	12.2%	15	13	14	17	19	10	21	15	20	26	15	11
そ の 他		20	1.2%	5	4	1	0	1	0	1	3	1	2	1	1

地区別・事故別救急出場状況

事故種別 地区別		合 計	火 災	自然 災害	水 難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	白 損 行為	急 病	そ の 他
合 計		1,602	1	0	1	130	67	11	271	4	15	962	140
都 留 市	東 桂	238	0	0	0	8	11	2	36	0	2	169	10
	谷 村	477	1	0	0	18	15	5	70	0	6	279	83
	三吉開地	203	0	0	0	15	9	2	44	0	2	129	2
	禾 生	317	0	0	0	14	22	2	45	1	1	194	38
	宝	105	0	0	0	5	7	0	24	1	1	65	2
	盛 里	46	0	0	0	1	1	0	4	0	0	40	0
道 志 村		196	0	0	1	65	2	0	42	1	3	77	5
そ の 他		20	0	0	0	4	0	0	6	1	0	9	0

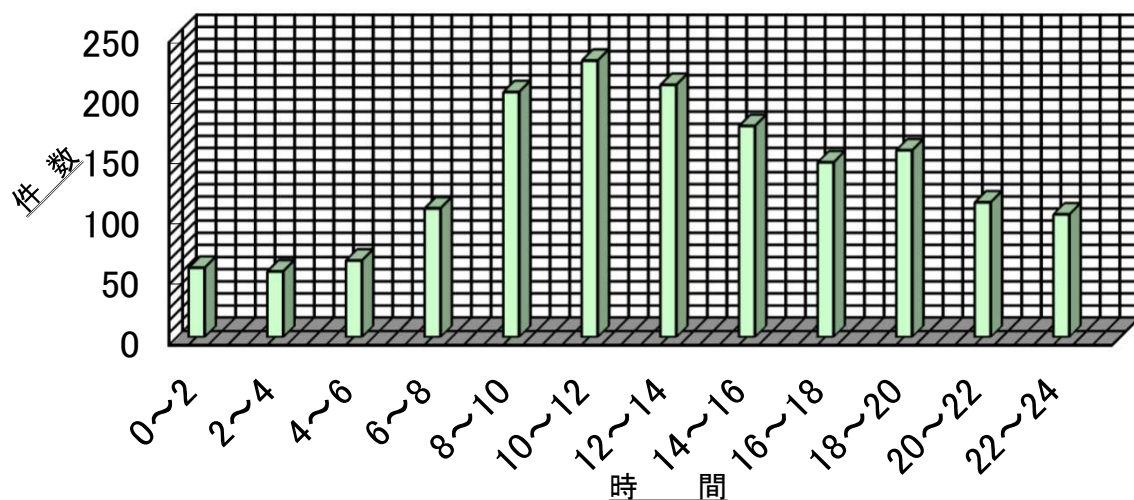
事故種別・年齢別搬送人員

事故種別 搬送人員 年 齢 別		火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合計	1, 517	1	0	0	135	64	12	258	3	14	896	134
0～ 9才	79	0	0	0	4	0	0	23	0	0	47	5
10～19才	55	0	0	0	11	1	5	5	0	0	30	3
20～29才	142	0	0	0	32	7	4	12	0	4	76	7
30～39才	53	0	0	0	11	6	0	9	0	1	23	3
40～49才	85	0	0	0	16	12	1	15	0	3	36	2
50～59才	127	0	0	0	23	22	2	21	1	3	51	4
60～69才	152	0	0	0	16	9	0	18	2	2	83	22
70～79才	252	1	0	0	13	7	0	45	0	0	163	23
80才以上	572	0	0	0	9	0	0	110	0	1	387	65
年齢不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

性別・傷病程度別搬送人員

事故種別			合 計	火 災	自然 災害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
搬送 程度別	性 別	人 員												
合 計	1,517	男	828	1	0	0	98	42	11	141	2	10	445	78
		女	689	0	0	0	37	22	1	117	1	4	451	56
軽 症	601	男	324	1	0	0	54	19	5	75	2	2	162	4
		女	277	0	0	0	28	15	1	46	0	0	182	5
中等症	674	男	365	0	0	0	31	12	6	47	0	3	207	59
		女	309	0	0	0	7	6	0	47	1	3	209	36
重 症	180	男	99	0	0	0	10	6	0	18	0	1	49	15
		女	81	0	0	0	2	1	0	23	0	0	40	15
死 亡	60	男	38	0	0	0	2	5	0	1	0	4	26	0
		女	22	0	0	0	0	0	0	1	0	1	20	0
その他	2	男	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
		女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

時間別救急出場状況

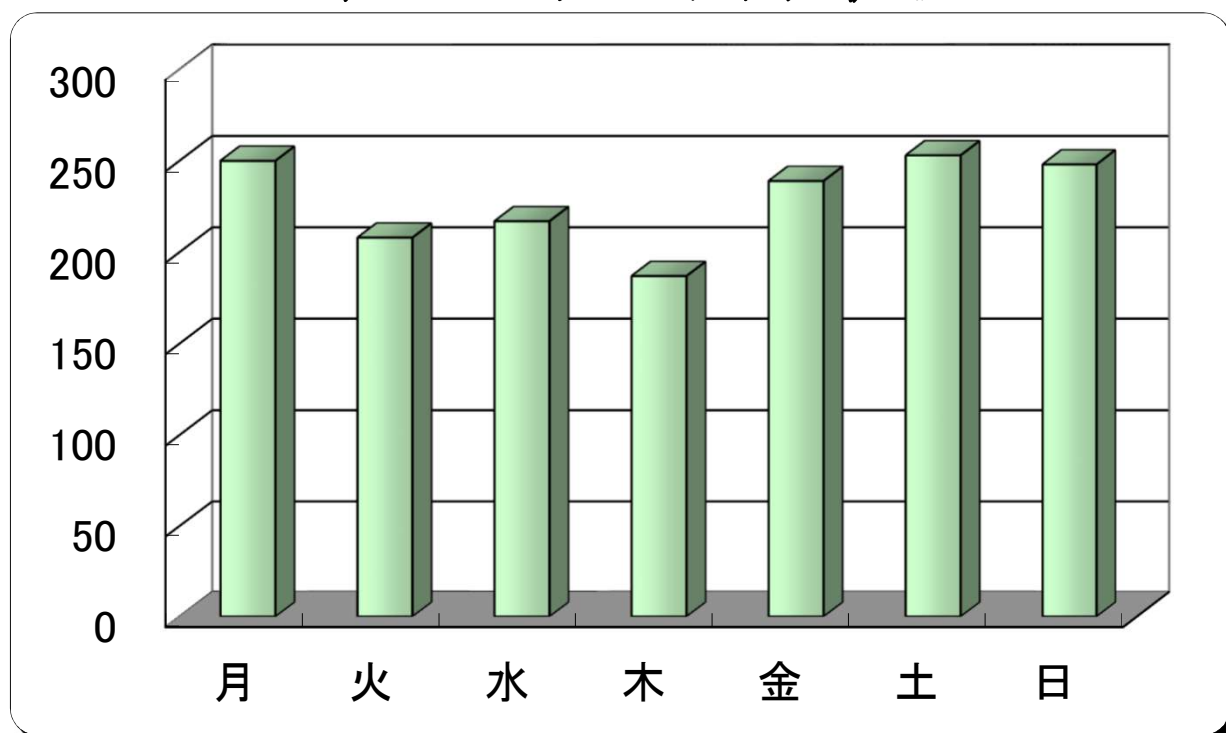


時 間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
件 数	57	54	63	106	202	228	208	174	144	154	111	101

診療科目別搬送人員

事故種別 搬送人員 (%)	合 計	内 科	外 科	整 形 外 科	脳 外 科	産 婦 人 科	小 児 科	そ の 他
人 員	1,517	874	70	304	96	7	52	114
%	100.0%	57.6%	4.6%	20.0%	6.3%	0.5%	3.4%	7.5%

曜日別救急出場状況

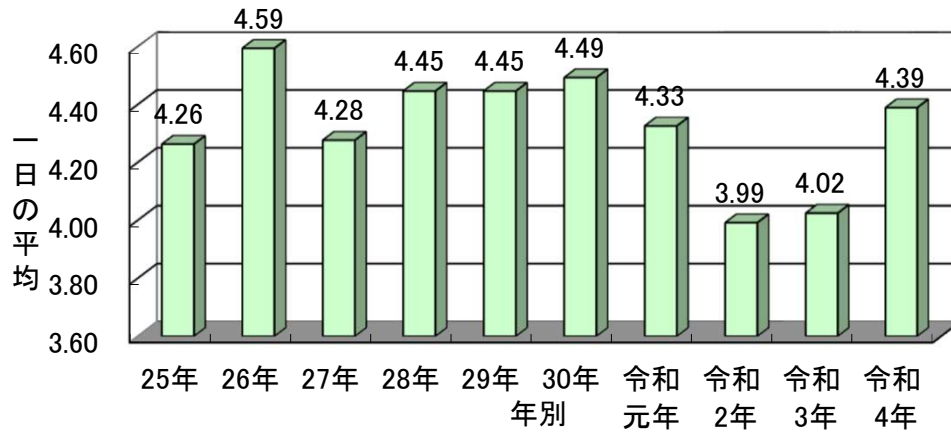


曜 日	月	火	水	木	金	土	日	合 計
出場件数	250	208	217	187	239	253	248	1,602
割 合	15.6%	13.0%	13.5%	11.7%	14.9%	15.8%	15.5%	100%

覚知別救急出場状況

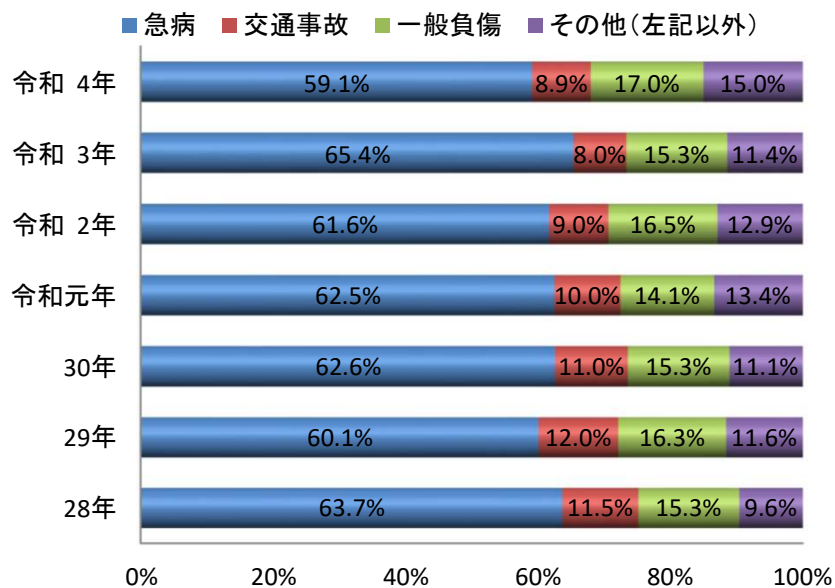
覚知別 地区別 (%)	合 計	1 1 9	移動体119	緊急通報	加入電話	駆け込み	その他
都留市	1,424	650	667	2	89	6	10
道志村	178	49	124	0	2	1	2
合 計	1,602	699	791	2	91	7	12
割 合	100%	43.6%	49.4%	0.1%	5.7%	0.4%	0.7%

1日の平均救急出場件数の年別比較



年別	25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
1日平均	4.26	4.59	4.28	4.45	4.45	4.49	4.33	3.99	4.02	4.39
年間出場件数	1,556	1,677	1,561	1,623	1,623	1,640	1,579	1,457	1,469	1,602

救急件数と主要事故種別搬送人員

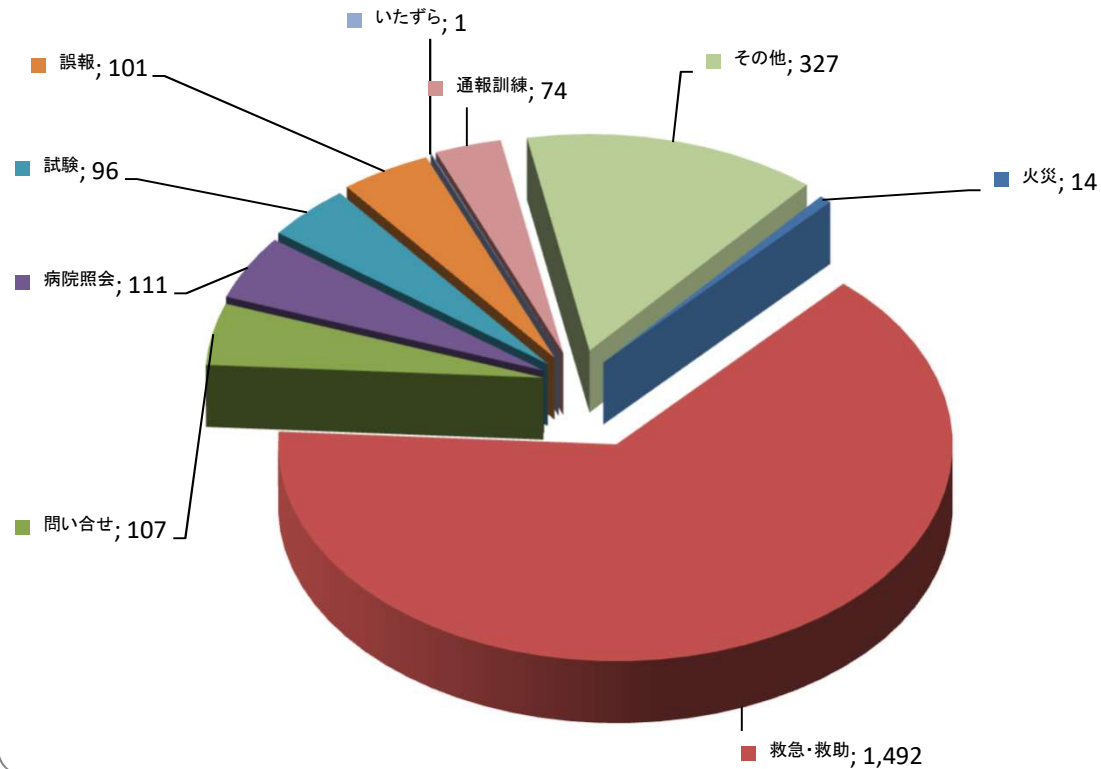


年別	28年	29年	30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
救急件数	1,623	1,623	1,640	1,579	1,457	1,469	1,602
搬送人員	1,572	1,538	1,577	1,506	1,395	1,403	1,517
急病	1,001	924	987	941	860	917	896
交通事故	180	185	173	150	125	112	135
一般負傷	240	251	242	213	230	214	258
その他(上記以外)	151	178	175	202	180	160	228

医 療 機 関 収 容 状 況

管轄別 \ 区 分		医 療 機 関 名	収容件数	収容人員	収容比較 (%)	
管内	都 留	都 留 市 立 病 院	1,038	1,052	69.35%	
		道 志 診 療 所	13	15	0.99%	
		そ の 他 の 医 療 機 関	41	43	2.83%	
	道 志	そ の 他 の 場 所			0.00%	
		小 計	1,092	1,110	73.17%	
管外	管内	大 月 市 立 中 央 病 院	69	69	4.55%	
		上 野 原 市 立 病 院	15	15	0.99%	
		富 士 吉 田 市 立 病 院	88	88	5.80%	
		山 梨 赤 十 字 病 院	75	76	5.01%	
		山 梨 県 立 中 央 病 院	95	96	6.33%	
		山梨大学医学部附属病院	34	34	2.24%	
		そ の 他 の 医 療 機 関	11	12	0.79%	
		そ の 他 の 場 所	0	0	0.00%	
		小 計	387	390	25.71%	
	管外	県外	東 京 都 内	2	2	0.13%
			神 奈 川 県 内	13	14	0.92%
			そ の 他 の 県	1	1	0.07%
			小 計	16	17	1.12%
合 計			1,495	1,517	100.00%	

119番受信状況



月別 種別	合計	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
総受信件数	2,323	189	147	195	170	181	171	249	190	188	211	188	244
火 災	14	0	1	3	1	1	0	1	1	1	2	1	2
救急・救助	1,492	140	105	112	115	113	108	161	119	115	124	120	160
問 い 合 せ	107	11	6	10	7	8	3	7	11	11	12	9	12
病 院 照 会	111	6	9	9	6	16	6	17	13	7	8	7	7
試 験	96	4	7	13	6	1	11	5	4	9	14	3	19
誤 報	101	7	2	14	5	13	5	6	14	7	14	7	7
いたずら	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
通 報 訓 練	74	3	7	12	5	1	6	5	2	9	5	14	5
そ の 他	327	18	10	22	25	28	31	47	26	29	32	27	32
一 日 平 均	6.4	6.1	5.3	6.3	5.7	5.8	5.7	8.0	6.1	6.3	6.8	6.3	7.9

火災件数にあっては、入電数ではなく出場件数として計上

山梨県安心安全見守りセンター緊急通報端末機設置状況

地 区		設置数
番 号	地 区 名	
0 1	谷 村	15 件
0 2	東 桂	5 件
0 3	三 吉 ・ 開 地	2 件
0 4	盛 里	1 件
0 5	禾 生	7 件
0 6	宝	3 件
小 計		33 件
0 7	道 志 村	8 件
合 計		41 件

山梨県安心安全見守りセンター受信状況 (都留市消防本部管内の受信状況)

区分 月別	都 留 市		道 志 村	
	回 数	緊 急	回 数	緊 急
1 月	1	0	0	0
2 月	1	0	0	0
3 月	1	1	0	0
4 月	1	0	1	0
5 月	1	1	0	0
6 月	1	0	0	0
7 月	1	0	0	0
8 月	1	1	0	0
9 月	1	0	0	0
10 月	1	0	0	0
11 月	1	0	0	0
12 月	1	0	0	0
計	12	3	1	0

気 象 年 表 (気 温 ・ 湿 度)

種別 月別	気温℃							湿度%	
	月最高	月最低	月平均	最高の 平 均	最低の 平 均	日平均気 温の最高	日平均気 温の最低	月平均	実 効 月平均
1	(9) 13.3	(22) -6.6	1.3	8.1	-3.8	(24) 3.7	(19) -1.5	55.4	54.6
2	(28) 14.1	(6) -6.1	1.7	8.5	-3.2	(27) 4.9	(6) -0.9	54.1	54.8
3	(14) 24.9	(7) -2.2	8.5	15.8	2.7	(14) 15.7	(22) 2.7	64.4	62.6
4	(27) 28.7	(2) -1.2	13.2	19.4	7.9	(27) 22.2	(3) 3.3	73.3	73.4
5	(29) 32.8	(3) 3.2	16.6	23.0	11.2	(29) 22.5	(1) 10.9	72.0	72.0
6	(29) 39.4	(2) 10.9	20.9	27.1	16.1	(29) 29.3	(14) 13.7	76.9	77.3
7	(1) 36.1	(5) 18.4	24.9	30.8	21.0	(29) 27.5	(16) 21.7	81.2	79.7
8	(3) 37.9	(19) 17.8	24.9	31.0	20.9	(3) 29.0	(29) 20.1	83.8	83.2
9	(1) 32.7	(22) 14.4	22.2	27.3	18.4	(18) 26.9	(22) 16.4	84.1	84.3
10									
11									
12									
計	259.9	48.6	134.2	191.0	91.2	181.7	86.4	645.2	641.9
平 均	28.9	5.4	14.9	21.2	10.1	20.2	9.6	71.7	71.3

() 内はその日

※10月、11月、12月分の測定値については、気象観測装置故障のため未測定

気象年表(天気・降水量)

種別 月別	月 別 降水量	日最大 降水量	降水 日数 1mm 以上	天											計
				快 晴	晴	晴 曇	曇	晴 雨	曇 雨	雨	晴 雪	曇 雪	雨 雪	雪	
1	9.0	(11) 9.0	1	1	26	0	3	0	0	1	0	0	0	0	31
2	37.5	(10) 24.0	4	0	14	3	6	0	0	4	0	0	0	1	28
3	67.5	(18) 32.0	6	0	16	1	8	0	2	4	0	0	0	0	31
4	151.0	(4) 32.0	11	1	12	1	4	5	4	3	0	0	0	0	30
5	94.5	(27) 52.5	7	0	15	3	3	3	4	3	0	0	0	0	31
6	84.0	(6) 29.0	10	2	12	1	2	6	4	3	0	0	0	0	30
7	105.5	(31) 25.0	14	1	10	5	1	5	7	2	0	0	0	0	31
8	195.5	(12) 55.0	14	0	7	5	2	9	7	1	0	0	0	0	31
9	209.0	(23) 67.5	10	0	14	1	3	3	8	1	0	0	0	0	30
10															0
11															0
12															0
計	953.5	326.0	77	5	126	20	32	31	36	22	0	0	0	1	273
平均	105.9	36.2	8.6	0.6	14.0	2.2	3.6	3.4	4.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.1	

() 内はその日

※10月、11月、12月の観測値については、気象観測装置故障のため未測定



一日消防長

予 防 関 係



宝保育園防火パレード

指 定 防 火 対 象 物 状 況

市村別対象物 政令別表（第一）項目別			防 火 対 象 物 数			防火管理を必要とする防火対象物数		
			合 計	都留市	道志村	合 計	都留市	道志村
合 計			1196	1112	84	292	253	39
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館	4	3	1	3	3	
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	20	16	4	11	7	4
(2)	イ	キャバレー・カフェー類	0			0		
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	11	11		9	9	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗	0			0		
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	4	4		4	4	
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 類	6	6		6	6	
	ロ	飲 食 店	55	50	5	32	30	2
(4)		百 貨 店 ・ 物 品 販 売 店 舗 類	68	66	2	45	45	
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 類	55	25	30	33	10	23
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 ・ 下 宿 類	317	314	3	10	10	
(6)	イ	(1) 病院・診療所類※ 1	2	2		2	2	
		(2) 病院・診療所類※ 2	1	1		1	1	
		(3) 病院・診療所類※ 3	2	2		2	2	
		(4) 病院・診療所類※ 4	22	21	1	3	3	
	ロ	(1) 老人短期入所施設類	12	11	1	10	9	1
		(2) 救 護 施 設	0			0		
		(3) 乳 児 院	0			0		
		(4) 障 害 児 入 所 施 設	0			0		
		(5) 障 害 者 支 援 施 設 短 期 入 所 施 設	1	1		1	1	
	ハ	(1) 老 人 デ イ サ ー 類 ビ ス セ ン タ ー 類	13	12	1	9	8	1
		(2) 更 生 施 設	0			0		
		(3) 助 産 施 設 保 育 所 児 童 養 護 施 設	16	15	1	15	14	1
		(4) 児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー	0			0		
		(5) 身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 障 害 者 支 援 施 設	3	3		1	1	
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	3	3		2	2	
(7)		学 校 ・ 各 種 学 校 類	49	48	1	21	20	1
(8)		図 書 館 ・ 美 術 館	5	4	1	5	4	1

(9)	イ	蒸気・熱気浴場類	0			0		
	ロ	一般公衆浴場	2	1	1	2	1	1
(10)		停車場類	2	2		0		
(11)		神社・寺院教会類	13	12	1	3	3	
(12)	イ	工場・作業所	252	230	22	26	25	1
	ロ	映画・テレビスタジオ	1	1		0		
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	4	4		0		
	ロ	飛行機・回転翼航空機の格納庫	0			0		
(14)		倉庫	54	54		1	1	
(15)		前各号に該当しない事業所	105	99	6	17	16	1
(16)	イ	複合用途（特定）	62	59	3	14	12	2
	ロ	複合用途（その他）	29	29		3	3	
(17)		重要文化財類	3	3		1	1	

- ※1 火災発生時の延焼を抑制する為の消火活動を適切に実施できることが出来る体制を除く病院。
 特定診療科目、一般病床、療養病床を有する病院。
- ※2 特定診療科目、4人以上の患者を入院させる施設を有する病院。
- ※3 ※1、2以外の病院、有床診療所。入所施設を有する助産所。
- ※4 無床診療所、無床助産所。

指定防火対象物(中・高層建築物)一覧表

種 類		防火対象物	4 階	5 階	6 階以上
項 目					
(1)	イ	劇場・映画館	4		
	ロ	公会堂・集会場	20		
(2)	イ	キャバレー・カフェー類			
	ロ	遊技場・ダンスホール	11		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等	4		
(3)	イ	待合・料理店類	6		
	ロ	飲食店	55		
(4)		百貨店・物品販売店舗類	68		
(5)	イ	旅館・ホテル類	55	2	1
	ロ	寄宿舍・共同住宅・下宿類	317	51	23
(6)	イ	(1) 病院・診療所類※1	2	1	1
		(2) 病院・診療所類※2	1		
		(3) 病院・診療所類※3	2		
		(4) 病院・診療所類※4	22		
	ロ	(1) 老人短期入所施設類	12		
		(2) 救護施設			
		(3) 乳児院			
		(4) 障害児入所施設			
		(5) 障害者支援施設	1		
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター類	13		
		(2) 更生施設			
		(3) 助産施設 保育所	16		
		(4) 児童養護施設			
		(5) 児童発達支援センター			
	ニ	(1) 身体障害者福祉センター	3		
		(2) 障害者支援施設			
		幼稚園・養護学校	3		
(7)		学校・各種学校類	49	5	3
(8)		図書館・美術館	5		
(9)	イ	蒸気・熱気浴場類			
	ロ	一般公衆浴場	2		
(10)		停車場類	2		
(11)		神社・寺院教会類	13		
(12)	イ	工場・作業所	252	1	
	ロ	映画・テレビスタジオ	1		
(13)	イ	自動車車庫・駐車場	4		
(14)		倉庫	54		
(15)		前各号に該当しない事業所	105	5	1
(16)	イ	複合用途(特定)	62	3	
	ロ	複合用途(その他)	29	1	
(17)		重要文化財類	3		
合 計			1196	69	29
					3

※1 火災発生時の延焼を抑制する為の消火活動を適切に実施できることが出来る体制を除く病院。

特定診療科目、一般病床、療養病床を有する病院。

※2 特定診療科目、4人以上の患者を入院させる施設を有する病院。

※3 ※1、2以外の病院、有床診療所。入所施設を有する助産所。

※4 無床診療所、無床助産所。

建築物同意件数

月別 項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数合計	3	3	4	1	4	5	5		7	5	3	8	48
新 築	1	3	3	1	4	5	2		6	5	1	6	37
増 築							2					1	3
改 築													0
修 繕													0
そ の 他	2		1				1		1		2	1	8

建築同意用途別件数

用途別		工事別	新 築	増 築	改 築	その他	合 計
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館					0
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場	1				1
(2)	イ	キャバレー・カフェー類					0
	ロ	遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル					0
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗					0
	ニ	カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等					0
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 類					0
	ロ	飲 食 店	1				1
(4)		百貨店・物品販売店舗類	1			2	3
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 類					0
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 ・ 下 宿 類	3				3
(6)	イ	(1) 病院・診療所類※ 1					0
		(2) 病院・診療所類※ 2					0
		(3) 病院・診療所類※ 3					0
		(4) 病院・診療所類※ 4					0
	ロ	(1) 老人短期入所施設類	1				1
		(2) 救 護 施 設					0
		(3) 乳 児 院					0
		(4) 障 害 児 入 所 施 設					0
		(5) 障 害 者 支 援 施 設 短 期 入 所 施 設					0
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター類					0
		(2) 更 生 施 設					0
		(3) 助 産 施 設 保 育 所 児 童 養 護 施 設					0
		(4) 児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー					0
		(5) 身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 障 害 者 支 援 施 設					0
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校					0
(7)		学 校 ・ 各 種 学 校 類					0
(8)		図 書 館 ・ 美 術 館					0
(9)	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 類					0
	ロ	一 般 公 衆 浴 場					0
(10)		停 車 場 類					0
(11)		神 社 ・ 寺 院 教 会 類					0
(12)	イ	工 場 ・ 作 業 所		2		1	3
	ロ	映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ					0
(13)	イ	自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場	1				1
(14)		倉 庫	4				4
(15)		前各号に該当しない事業所	8	1		3	12

(16)	イ	複 合 用 途 （ 特 定 ）	3			1	4
	ロ	複 合 用 途 （ そ の 他 ）	4			1	5
(17)		重 要 文 化 財 類					0
		長 屋	8				8
		屋 内 貯 蔵 所					0
		事 務 所 併 用 住 宅					0
		そ の 他 の 工 作 物					0
		専 用 住 宅	2				2
合 計			37	3	0	8	48
確 認 通 知 （ 専 用 住 宅 ）			62	2		4	68

- ※ 1 火災発生時の延焼を抑制する為の消火活動を適切に実施できることが出来る体制を除く病院。
 特定診療科目、一般病床、療養病床を有する病院。
- ※ 2 特定診療科目、4人以上の患者を入院させる施設を有する病院。
- ※ 3 ※ 1、2以外の病院、有床診療所。入所施設を有する助産所。
- ※ 4 無床診療所、無床助産所。

消 防 用 設 備 等 設 置 状 況

政令別表（第一）項目別		設 備 別	屋 内 消 火 栓 設 備	ス プ リ ン ク ラ ー 設 備	水 噴 霧 等 特 殊 消 火 設 備	屋 外 消 火 栓 設 備	自 動 火 災 報 知 設 備	避 難 器 具	誘 導 灯	排 煙 設 備	連 結 送 水 管	ガ ス 系 消 火 設 備
合 計			4	2	0	0	11	2	15	0	0	0
(1)	イ	劇 場 ・ 映 画 館										
	ロ	公 会 堂 ・ 集 会 場										
(2)	イ	キャバレー・カフェー類										
	ロ	遊技場・ダンスホール										
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗										
	ニ	カラオケボックス等										
(3)	イ	待 合 ・ 料 理 店 類										
	ロ	飲 食 店					1		2			
(4)		百貨店・物品販売店舗類	3				4		5			
(5)	イ	旅 館 ・ ホ テ ル 類					3		1			
	ロ	寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 ・ 下 宿 類						2				
(6)	イ	(1) 病院・診療所類※ 1										
		(2) 病院・診療所類※ 2										
		(3) 病院・診療所類※ 3		1			1		1			
		(4) 病院・診療所類※ 4										
	ロ	(1) 老人短期入所施設類		1			1		1			
		(2) 救 護 施 設										
		(3) 乳 児 院										
		(4) 障 害 児 入 所 施 設										
		(5) 障 害 者 支 援 施 設 短 期 入 所 施 設										
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター類										
		(2) 更 生 施 設										
		(3) 助 産 施 設 保 育 所 設 児 童 養 護 施 設										
		(4) 児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー										
		(5) 身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー 障 害 者 支 援 施 設										
	ニ	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校										
(7)		学 校 ・ 各 種 学 校 類										
(8)		図 書 館 ・ 美 術 館										
(9)	イ	蒸 気 ・ 熱 気 浴 場 類										
	ロ	一 般 公 衆 浴 場										

(10)	停 車 場 類										
(11)	神 社 ・ 寺 院 教 会 類										
(12)	イ 工 場 ・ 作 業 所	1				1		1			
	ロ 映 画 ・ テ レ ビ ス タ ジ オ										
(13)	イ 自 動 車 車 庫 ・ 駐 車 場										
(14)	倉 庫										
(15)	前 各 ・ 号 に 該 当 し な い 事 業 所							3			
(16)	イ 複 合 用 途 （ 特 定 ）										
	ロ 複 合 用 途 （ そ の 他 ）							1			
(17)	重 要 文 化 財 類										

※ 1 火災発生時の延焼を抑制する為の消火活動を適切に実施できることが出来る体制を除く病院。

特定診療科目、一般病床、療養病床を有する病院。

※ 2 特定診療科目、4人以上の患者を入院させる施設を有する病院。

※ 3 ※ 1、2 以外の病院、有床診療所。入所施設を有する助産所。

※ 4 無床診療所、無床助産所。

各種届出検査・願出調査等処理状況

内 容		年 別 件 数	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年
届 出	消防用設備・等着工届		17	14	10
	消防用設備等設置届		36	47	48
	防火管理者選任または解任届		40	54	40
	防火対象物使用開始届		16	20	34
	消防計画届		53	60	50
	消防用設備等点検結果報告書		262	312	274
	圧縮アセチレンガス、液化石油ガス貯蔵取扱開始届		3	3	13
	熱風炉設置届		—	—	—
	多量の可燃性ガスまたは蒸気を発生する炉またはかまど設置届		3	1	—
	上記以外の据付面積 2 m ² 以上の炉またはかまど設置届		—	—	—
	ボイラーまたは、発熱量42kw/h以上の給湯湯沸設備設置届		2	2	2
	乾燥設備設置届		1	1	2
	サウナ設備設置届		—	—	3
	ヒートポンプ冷暖房機設置届		1	—	—
	火花を生ずる設備設置届		—	—	1
	高圧または特別高圧の変電設備設置届		3	1	7
	内燃機関による発電設備設置届		1	1	5
	屋内に設ける蓄電池設備設置届		2	2	1
	設備容量2EVA以上のネオン管設備設置届		—	—	—
	水素ガスを充填する気球の設置届		—	—	—
	指定数量未満の危険物等の貯蔵または取扱いの届		5	4	6
検 査 等	旅館の営業許可にともなう照会検査		11	9	24
	車庫修理工場等の証明書交付申請検査		—	—	—
	液化石油ガス販売事業許可にともなう意見書交付申請検査		1	—	—
	防災表示者認定申請検査		—	—	—
	建築物工事状況中間検査		4	6	14
	無確認建築物調査		—	—	—
	危険物貯蔵タンク水張・水圧検査		—	—	—
	危険物製造所等工事中間及び変更完成検査		2	3	3
願 出 調	火災の発生危険にともなう調査		—	—	—
	建築物にかかる調査		—	—	—
	危険物にかかる調査		—	—	—
	その他の願出にもとづく調査		—	—	—

防 火 対 象 物 予 防 査 察 状 況

月別区分政令別表（第一）項目別		合計		1月		2月		3月		4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月	
		検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示	検査	指示
合 計		15	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	2	3	3	7	5	1	0		
(1)	イ 劇 場 ・ 映 画 館	0	0																								
	ロ 公 会 堂 ・ 集 会 場	0	0																								
(2)	イ キャバレー・カフェー類	0	0																								
	ロ 遊 技 場 ・ ダ ン ス ホ ー ル	0	0																								
	ニ カ ラ オ ケ ボ ッ ク ス 等	0	0																								
(3)	イ 待 合 ・ 料 理 店 類	0	0																								
	ロ 飲 食 店	0	0																								
(4)	百貨店・物品販売店舗類	0	0																								
(5)	イ 旅 館 ・ ホ テ ル 類	0	0																								
	ロ 寄 宿 舎 ・ 共 同 住 宅 ・ 下 宿 類	0	0																								
(6)	イ (1) 病院・診療所類※1	0	0																								
	(2) 病院・診療所類※2	0	0																								
	(3) 病院・診療所類※3	0	0																								
	(4) 病院・診療所類※4	5	5																1	1			4	4			
	ロ (1) 老人短期入所施設類	5	3																3	1	2	2					
	(2) 救 護 施 設	0	0																								
	(3) 乳 児 院	0	0																								
	(4) 障 害 児 入 所 施 設	0	0																								
	(5) 障 害 者 支 援 施 設	1	1																		1	1					
	ハ (1) 老人デイサービスセンター類	1	0																				1	0			
	(2) 更 生 施 設	0	0																								
	(3) 助 産 施 設 保 育 所	1	0																						1	0	
	ロ 児 童 養 護 施 設	0	0																								
	(4) 児 童 発 達 支 援 セ ン タ ー	0	0																								
	(5) 身 体 障 害 者 福 祉 セ ン タ ー	0	0																								
	ニ 障 害 者 支 援 施 設	0	0																								
	幼 稚 園 ・ 養 護 学 校	0	0																								
(7)	学 校 ・ 各 種 学 校 類	0	0																								
(8)	図 書 館 ・ 美 術 館	0	0																								



移動タンク貯蔵所立入検査

保 安 関 係



給油所立入り検査

危険物施設市村別設置状況

区 分			合 計	都留市	道志村
危険物施設保有事業所数			74	69	5
合 計			123	114	9
製 造 所			0		
貯蔵所	屋 内 貯 蔵 所		8	8	
	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所		6	5	1
	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所		5	5	
	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所		34	31	3
	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所		0		
	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所		16	14	2
	屋 外 貯 蔵 所		0		
小 計			69	63	6
取扱所	給油取扱所	営業用	17	15	2
		自家用	23	23	
		鉄道	1	1	
	第 一 種 販 売 取 扱 所		0		
	第 二 種 販 売 取 扱 所		0		
	移 送 取 扱 所		0		
	一 般 取 扱 所 （ 小 口 詰 替 ）		13 (6)	12 (6)	1 (0)
小 計			54 (6)	51 (6)	3 (0)

危険物製造所等査察実施状況

区分 製造所等種別 危険物施設 数 査 察 回 数 違反施設数				
合 計		123	109	—
製 造 所				—
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	8	6	—
	屋外タンク貯蔵所	6	4	—
	屋内タンク貯蔵所	5	4	—
	地下タンク貯蔵所	34	29	—
	簡易タンク貯蔵所			—
	移動タンク貯蔵所	16	22	—
	屋 外 貯 蔵 所			—
小 計		69	65	—
取 扱 所	給 油 取 扱 所	41	33	—
	第一種販売取扱所			—
	第二種販売取扱所			—
	移 送 取 扱 所			—
	一 般 取 扱 所	13	11	—
小 計		54	44	—

指定数量別危険物貯蔵所・取扱所の区分

施設の区分 \ 数 量 別		5倍 以下	10倍 以下	50倍 以下	100倍 以下	150倍 以下	200倍 以下	200倍 以上	合計
合 計		59	28	19	5	5	4	3	123
製 造 所									
貯 蔵 所	屋 内 貯 蔵 所	6	2						8
	屋外タンク貯蔵所	1	3	2					6
	屋内タンク貯蔵所	4	1						5
	地下タンク貯蔵所	19	9	6					34
	簡易タンク貯蔵所								0
	移動タンク貯蔵所	16							16
	屋 外 貯 蔵 所								0
	小 計	46	15	8	0	0	0	0	69
取 扱 所	給 油 取 扱 所	10	6	8	5	5	4	3	41
	第一種販売取扱所								0
	第二種販売取扱所								0
	移 送 取 扱 所								0
	一 般 取 扱 所	3	7	3					13
	小 計	13	13	11	5	5	4	3	54

危険物月別事務処理状況

申請 届出		種別		月 別											
				合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
申 請 事 項	設 置 許 可		0												
	設置完成検査		0												
	変 更 許 可		3							2				1	
	変更完成検査		3							2				1	
	完成検査前検査	基礎地盤検査	0												
		溶接部検査	0												
		水 圧 検 査	0												
		水 張 検 査	0												
	保 安 検 査		0												
	仮 使 用		1							1					
仮貯蔵・仮取扱		1												1	
予 防 規 定		5				1		2	1	1					
完成検査済証等再交付		1						1							
届 出 事 項	譲渡引き渡し		1										1		
	種類・数量変更		1							1					
	用 途 廃 止		13				1		1		2		2	3	4
	危険物保安監督者選解任届		5				1	2		1			1		
	資 料 提 出 等		0												
	取り下げ願い		0												
合計			34	0	0	0	3	2	4	8	3	0	4	5	5



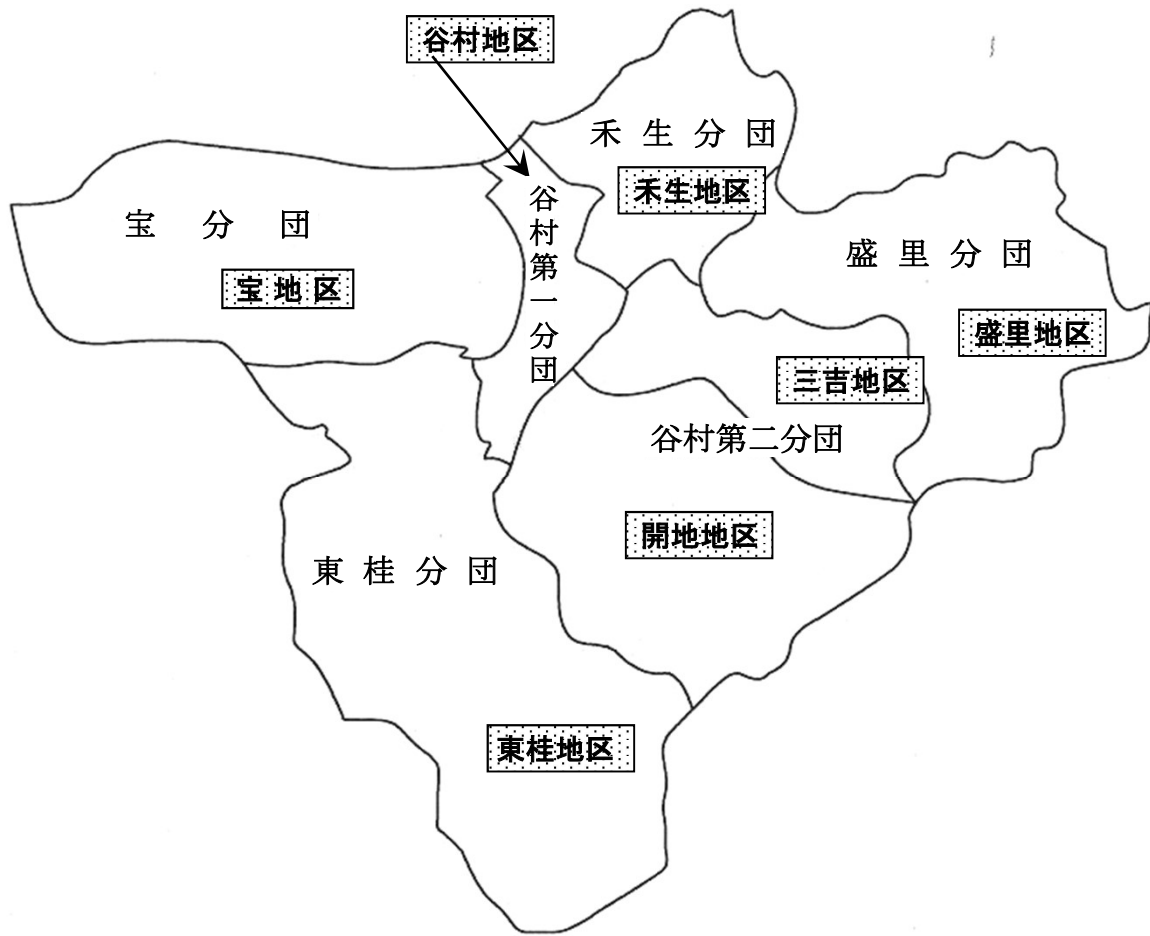
辞令交付式

消 防 団 関 係



都留市消防出初め式

市勢地区別一覽表



都留市消防団・分団別管轄地域一覽表

分団名	管轄地区名	人口(人)	世帯数	自治会数
谷村第一分団	谷 村	7,434	3,960	27
谷村第二分団	三 吉	2,253	945	9
	開 地	1,661	682	11
東桂分団	東 桂	6,413	2,726	9
禾生分団	禾 生	7,537	3,347	13
宝分団	宝	2,331	1,004	10
盛里分団	盛 里	1,166	494	10
合計		28,795	13,158	89

都留市消防団火災出場計画(区分)表

出火地区	第 1 出 場	第 2 出 場	第 3 出 場
上 谷	谷村第一分団	東 桂 分 団 の内の一部分	都留市消防団 6 分 団 全 部
		谷村第二分団 //	
		※ 宝 分 団 //	
下 谷	//	谷村第二分団 //	
		禾 生 分 団 //	
		宝 分 団 //	
開 地	谷村第二分団	谷村第一分団 //	
		※ 東 桂 分 団 //	
三 吉	//	谷村第一分団 //	
		禾 生 分 団 //	
		※ 盛 里 分 団 //	
東 桂	東 桂 分 団	谷村第一分団 //	
		※ 谷村第二分団 //	
		※ 宝 分 団 //	
禾 生	禾 生 分 団	谷村第一分団 //	
		谷村第二分団 //	
		盛 里 分 団 //	
宝	宝 分 団	谷村第一分団 //	
		※ 東 桂 分 団 //	
盛 里	盛 里 分 団	禾 生 分 団 //	
		※ 谷村第二分団 //	

※ は林野火災時に適用する。

備考

第一出場とは分団の管轄区域（管轄分団で対応可能）

第二出場とは隣接する他の分団の管轄区域（管轄分団で対応困難の場合）

第三出場とは消防長または消防団長が必要と認めた場合

消 防 団 員 数

階 級 分団別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 員	部 長	班 長	団 員	合 計
本 団	1	2							3
谷 村 第 一 分 団			1	2	2	13	13	104	135
谷 村 第 二 分 団			1	2	1	11	11	111	137
東 桂 分 団			1	2	1	8	16	111	139
禾 生 分 団			1	2	1	6	13	91	114
宝 分 団			1	2	1	5	7	58	74
盛 里 分 団			1	2	1	4	8	57	73
合 計	1	2	6	12	7	47	68	532	675

消 防 団 員 年 齢 構 成

階 級 年齢別	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 員	部 長	班 長	団 員	合 計
1 8 ～ 2 0								1	1
2 1 ～ 2 5							1	20	21
2 6 ～ 3 0						2	3	67	72
3 1 ～ 3 5						11	19	113	143
3 6 ～ 4 0						16	26	129	171
4 1 ～ 4 5					2	13	15	105	135
4 6 ～ 5 0			1	5	3	3	4	60	76
5 1 ～ 5 5			2	6	2	1		23	34
5 6 ～ 6 0			2	1				10	13
6 1 歳 以 上	1	2	1			1		4	9
合 計	1	2	6	12	7	47	68	532	675

消防団員勤続年数

階級 勤続年数	団 長	副 団 長	分 団 長	副 分 団 長	本 部 員	部 長	班 長	団 員	合 計
1 年 未 満								19	19
1 ～ 5 年						3	12	126	141
6 ～ 1 0 年						11	26	128	165
1 1 ～ 1 5 年		1	1	2	2	17	21	106	150
1 6 ～ 2 0 年			1	3	5	15	6	108	138
2 1 ～ 2 5 年		1	4	6		1	3	37	52
2 6 年 以 上	1			1				8	10
合 計	1	2	6	12	7	47	68	532	675
新 ・ 再 入 団 員			1	2	2	1		33	39
退 職 団 員			4	2	0	2	1	30	39

ポ ン プ 配 置 状 況

ポンプ別 分団名	ポ ン プ 自 動 車	小型動力 ポ ン プ	小型動力 ポンプ付 積 載 車	そ の 他	合 計
谷 村 第 一 分 団			13		13
谷 村 第 二 分 団			11		11
東 桂 分 団			8		8
禾 生 分 団	1		5		6
宝 分 団			5		5
盛 里 分 団			4		4
計	1	—	46	—	47

消防団デジタル無線局配置表

区分	名 称	車載	携帯	基地	区分	名 称	車載	携帯	基地
本部	消防本部			○	団長	つるだん1		○	
〃	都留指令	○			副団長	つるだん2		○	
〃	都留本部1～8		○		〃	つるだん3		○	

谷 村 第 一 分 団

区分	名 称	車載	携帯	基地	区分	名 称	車載	携帯	基地
分団長	1分団1		○		本部員	1分団5		○	
副分団長	1分団2		○		部長	谷村1-1～1-13	○	○	
〃	1分団3		○		5部詰所	谷村1本部			○
本部員	1分団4		○						

谷 村 第 二 分 団

区分	名 称	車載	携帯	基地	区分	名 称	車載	携帯	基地
分団長	2分団1		○		本部員	2分団4		○	
副分団長	2分団2		○		部長	谷村2-1～2-11	○	○	
〃	2分団3		○		1部詰所	谷村2本部			○

東 桂 分 団

区分	名 称	車載	携帯	基地	区分	名 称	車載	携帯	基地
分団長	東桂分団1		○		本部員	東桂分団4		○	
副分団長	東桂分団2		○		部長	東桂1～8	○	○	
〃	東桂分団3		○		8部詰所	東桂本部			○

禾 生 分 団

区分	名 称	車載	携帯	基地	区分	名 称	車載	携帯	基地
分団長	禾生分団1		○		本部員	禾生分団4		○	
副分団長	禾生分団2		○		部長	禾生1～6	○	○	
〃	禾生分団3		○		2部詰所	禾生本部			○

宝 分 団

区分	名 称	車載	携帯	基地	区分	名 称	車載	携帯	基地
分団長	宝分団1		○		本部員	宝分団4		○	
副分団長	宝分団2		○		部長	宝1～5	○	○	
〃	宝分団3		○		3部詰所	宝本部			○

盛 里 分 団

区分	名 称	車載	携帯	基地	区分	名 称	車載	携帯	基地
分団長	盛里分団1		○		本部員	盛里分団4		○	
副分団長	盛里分団2		○		部長	盛里1～4	○	○	
〃	盛里分団3		○		2部詰所	盛里本部			○

開局年月日：平成27年2月1日

車載48 携帯83 基地局7 合計138

消防ポンプ・小型動力ポンプ付積載車の配置・性能一覧表

谷 村 第 一 分 団

部	地 域 名	年式	車体	排気量 C C	種別	型式	級別	馬力	メーカー	機種	購入年月
1部	田 原 ・ 楽 山	H21	トヨタ	2,980	積載車	1段ター ビン	B2級	62	シバウラ	V75DS	H21. 11
2部	上 町	H29	〃	2,980	〃	〃	〃	62	〃	SF756MZ	H29. 3
3部	早馬町・新町	R2	〃	2,980	〃	〃	〃	53	〃	L618Z	R2. 2
4部	上天神町 下天神町	H13	〃	2,980	〃	〃	〃	60	〃	P555	H13. 7
5部	仲 町 ・ 下 町	H30	〃	2,980	〃	〃	〃	62	〃	SF756Z	H31. 2
6部	高 尾 町	H19	〃	2,980	〃	〃	〃	62	シバウラ	SF756MZ	H20. 2
7部	横 町 ・ 田 町	R3	ダイハツ	650	〃	〃	〃	53	シバウラ	L618Z	R3. 3
8部	弁天町・寿町	R4	ダイハツ	650	〃	〃	〃	62	トーハツ	VC72BS	R4. 3
9部	新明町・新井 姥沢・深田	R5	〃	650	〃	〃	〃	62	シバウラ	FK500	R5. 2
10部	鷹 の 巣	H12	〃	2,985	〃	〃	〃	62	トーハツ	VC72AS	H13. 2
11部	羽根子・長者町	H13	〃	2,980	〃	〃	〃	60	ラビット	P555	H13. 7
12部	栄町・幸町・城北	H20	〃	2,980	〃	〃	〃	53	シバウラ	L618Z	H20. 12
13部	川 棚 ・ 旭 ヶ 丘	H29	〃	2,980	〃	〃	〃	62	〃	SF756MZ	H29. 3

谷 村 第 二 分 団

部	地 域 名	年式	車体	排気量 C C	種別	型式	級別	馬力	メーカー	機種	購入年月
1部	法能・住吉・日の 出	H22	トヨタ	2,980	積載車	1段ター ビン	B2級	62	シバウラ	SF756MZ	H22. 12
2部	宮 原	R4	ダイハツ	650	〃	〃	〃	62	トーハツ	VC72BS	R4. 3
3部	引 の 田	H11	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	P555	H12. 3
4部	玉 川	H18	マツダ	1,990	〃	〃	〃	62	シバウラ	SF756MZ	H18. 3
5部	下 戸 沢	H22	日 産	2,980	〃	〃	〃	〃	ラビット	P508	H22. 1
6部	上 戸 沢	H20	トヨタ	2,980	〃	〃	〃	53	シバウラ	L618Z	H20. 12
7部	熊井戸・緑町 下小野	H26	〃	2,980	〃	〃	〃	62	〃	SF756MZ	H26. 3
8部	中小野・西海戸	R5	〃	650	〃	〃	〃	62	シバウラ	FK500	R5. 2
9部	上小野・大津	H12	〃	2,985	〃	〃	〃	62	トーハツ	VC72AS	H13. 2
10部	下細野・上細野	H15	〃	2,980	〃	〃	〃	60	ラビット	EP555	H16. 3
11部	菅 野	H30	〃	2,980	〃	〃	〃	62	シバウラ	SF756Z	H31. 2

東 桂 分 団

部	地 域 名	年式	車体	排気量 C C	種別	型式	級別	馬力	メーカー	機種	購入年月
1部	十 日 市 場	H24	トヨタ	2,980	積載車	1段ター ビン	B2級	62	シバウラ	SF756MZ	H24. 3
2部	下 夏 狩	H28	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H28. 3
3部	上 夏 狩	H25	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H25. 11
4部	古 渡	H28	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H28. 3
5部	沖	H29	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H29. 3
6部	宮 下	H25	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H25. 11
7部	境	H27	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H27. 3
8部	桂 町	H19	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H20. 2

禾 生 分 団

部	地 域 名	年式	車体	排気量 C C	種別	型式	級別	馬力	メーカー	機種	購入年月
1部	四 月 日 見 市 場 丘	H9	トヨタ	4,160	ポンプ車	2段ター ビン	A2級		G M	G12H2	H9. 10
2部	古 川 渡	H21	〃	2,980	積載車	1段ター ビン	B2級	62	シバウラ	SF756MZ	H21. 10
3部	川 茂	H27	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H27. 3
4部	小 形 山	H29	〃	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	〃	H29. 3
5部	田 野 倉	R2	日 産	1,990	〃	〃	B3級	54	トーハツ	VF53AS	R2. 3
6部	井 倉 ・ 九 鬼	H26	〃	2,980	〃	〃	B2級	62	シバウラ	SF756MZ	H26. 3

宝 分 団

部	地 域 名	年式	車体	排気量 C C	種別	型式	級別	馬力	メーカー	機種	購入年月
1部	上 大 幡	R2	トヨタ	2,980	積載車	1段ター ビン	B2級	53	シバウラ	L618Z	R2. 2
2部	下 大 幡	H16	〃	2,490	〃	〃	〃	62	トーハツ	VC72BS	H16. 12
3部	中 津 森	H18	マツダ	1,990	〃	〃	〃	〃	シバウラ	SF756MZ	H18. 3
4部	金 井	H19	〃	1,990	〃	〃	〃	〃	〃	SF756MZ	H19. 2
5部	厚原・平乗・加畑	H24	トヨタ	2,980	〃	〃	〃	〃	〃	SF756MZ	H24. 3

盛 里 分 団

部	地 域 名	年式	車体	排気量 C C	種別	型式	級別	馬力	メーカー	機種	購入年月
1部	与 縄	H19	マツダ	1,990	積載車	1段ター ビン	B2級	62	シバウラ	SF756MZ	H19. 2
2部	馬場・久保・神門	H16	トヨタ	2,490	〃	〃	〃	〃	トーハツ	VC72BS	H16. 12
3部	曾 雌	H16	〃	2,980	〃	〃	〃	60	ラビット	EP555	H16. 3
4部	大 平	R3	〃	2,980	〃	〃	〃	53	シバウラ	L618Z	R3. 3

歴代消防団長(都留市)

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
初代	石 川 新 蔵	昭和29. 12. 20～昭和33. 12. 4	
2代	小 林 次 郎	昭和33. 12. 5～昭和35. 12. 4	
3代	安 田 菊 致	昭和35. 12. 5～昭和38. 12. 4	
4代	荻 窪 光 武	昭和38. 12. 5～昭和42. 11. 12	
5代	白 井 一 孝	昭和42. 11. 13～昭和45. 3. 31	
6代	木 村 嘉 則	昭和45. 4. 1～昭和48. 12. 5	
7代	熊 坂 和 夫	昭和48. 12. 6～昭和52. 4. 12	
8代	小 俣 庄 司	昭和52. 4. 13～昭和54. 3. 31	
9代	渡 邊 智	昭和54. 4. 1～昭和57. 3. 31	
10代	小 俣 勲 広	昭和57. 4. 1～昭和62. 3. 31	
11代	鈴 木 芳 男	昭和62. 4. 1～平成元. 3. 31	
12代	渡 邊 初 夫	平成元. 4. 1～平成 3. 3. 31	
13代	小 林 庸 夫	平成 3. 4. 1～平成 5. 3. 31	
14代	渡 邊 欣 吾	平成 5. 4. 1～平成 7. 3. 31	
15代	堀 野 義 春	平成 7. 4. 1～平成 9. 3. 31	
16代	藤 江 厚 夫	平成 9. 4. 1～平成11. 3. 31	
17代	平 井 清	平成11. 4. 1～平成13. 3. 31	
18代	草 薙 征 一	平成13. 4. 1～平成17. 3. 31	
19代	花 田 武	平成17. 4. 1～平成19. 3. 31	
20代	平 井 保 正	平成19. 4. 1～平成21. 3. 31	
21代	佐 藤 勝 吉	平成21. 4. 1～平成23. 3. 31	
22代	野 武 一 雄	平成23. 4. 1～平成25. 3. 31	
23代	小 林 三 良	平成25. 4. 1～平成27. 3. 31	
24代	渡 邊 一 由	平成27. 4. 1～平成29. 3. 31	

歴 代	氏 名	在 職 期 間	備 考
25代	平 井 政 司	平成29. 4. 1～令和 3. 3. 31	
26代	臼 井 久	令和 3. 4. 1～	

令和 4 年版消防年報

令和 5 年 7 月発行

都 留 市 消 防 本 部

〒 402-0053 山梨県都留市上谷二丁目 2 番 9 号

TEL 0554(43)1119

FAX 0554(45)1199